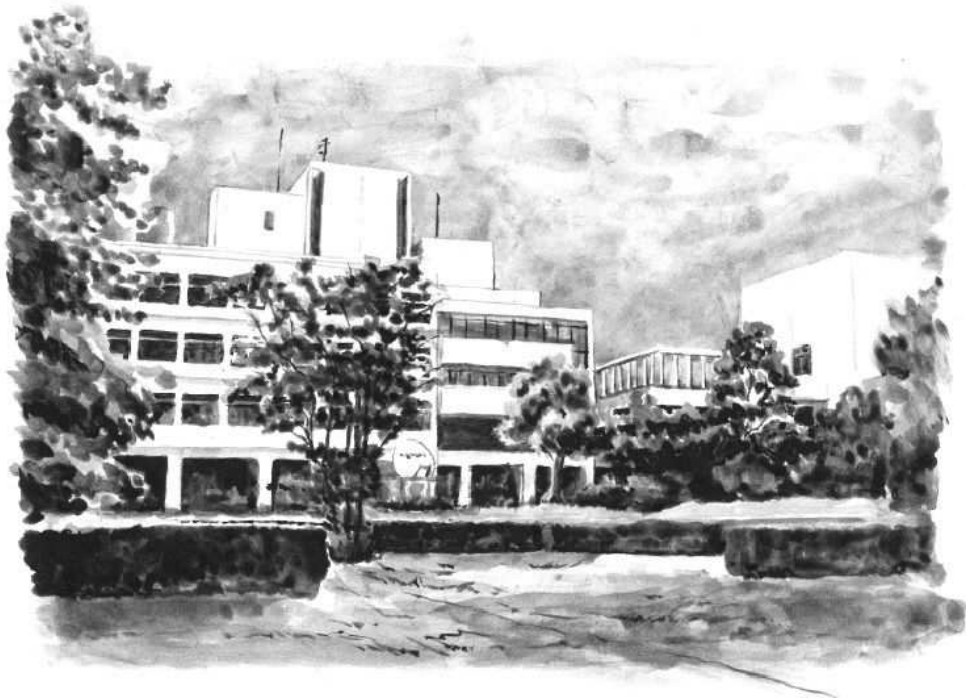


令和4年度 研修事業案内



※「令和4年度研修事業案内」は、愛知県総合教育センターウェブページの「研修部」からダウンロードできます。

愛知県総合教育センター



研修の申し込み方法・期限

申し込み方法の詳細については、次のページを参照してください。

- 幼稚園等 p. 8～p. 9
- 小・中・義務教育学校 p. 10～p. 14
- 高等学校 p. 15～p. 18
- 特別支援学校 p. 19～p. 22

(1) キャリア・アップ研修，リーダー研修（指定分），スキル・アップ研修〔研修番号 60～64の指定分〕の対象者名簿・参加者名簿・参加者推薦書

区 分	申し込み方法	期限
公立幼稚園・公立幼稚園型認定こども園	様式1を各市町村教育委員会へ提出	各市町村教育委員会が指定する日
小・中・義務教育学校	教員サポートシステム	令和4年4月14日（木）
高等学校・特別支援学校		
国立幼稚園		
私立幼稚園・保育所・認定こども園（公立幼稚園型認定こども園を除く）	様式1を指定部署へ提出	関係部署が指定する日

(2) スキル・アップ研修，リーダー研修（自由応募制）の希望者名簿

区 分	申し込み方法	期限
国公立幼稚園等	様式2を総合教育センターへ提出	令和4年6月14日（火） ※eラーニング単独講座については、令和5年2月3日（金）まで随時、申し込みが可能
小・中・義務教育学校	教員サポートシステム	
高等学校・特別支援学校		
事務職員等	様式4を総合教育センターへ提出	

※小・中・義務教育学校，高等学校，特別支援学校は，教員サポートシステムで申し込みを行ってください。

※令和4年度の各種様式は，愛知県総合教育センターウェブページの「研修部」からダウンロードできます。

目 次

I	基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
II	本案内の見方、受講に当たっての留意事項等・・・・・・・・	3～7
III	研修の申し込み	
	幼稚園等・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8～9
	小・中・義務教育学校・・・・・・・・・・	10～14
	高等学校・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15～18
	特別支援学校・・・・・・・・・・・・・・・・	19～22
IV	研修・講座一覧	
	* 研修番号に付した★印は、当該研修・講座の全部または一部を「eラーニング研修」によって実施することを示します。	
1	キャリア・アップ研修・・・・・・・・・・	23～30
	1★小学校初任者研修	
	2★中学校初任者研修	
	3★高等学校初任者研修	
	4★特別支援学校初任者研修	
	5★新規採用養護教諭研修	
	6★新規採用栄養教諭研修	
	7★県立学校新規採用実習教員・寄宿舎指導員研修	
	8★幼稚園等新規採用教員研修	
	9 小学校2年目教員研修	
	10 中学校2年目教員研修	
	11 高等学校2年目教員研修	
	12 特別支援学校2年目教員研修	
	13★小学校3年目教員研修	
	14★中学校3年目教員研修	
	15 高等学校3年目教員研修	
	16 特別支援学校3年目教員研修	
	17★幼稚園等中堅教諭資質向上研修	
	18★小学校中堅教諭資質向上研修【前期】【後期】	
	19★中学校中堅教諭資質向上研修【前期】【後期】	
	20★高等学校中堅教諭資質向上研修【前期】【後期】	
	21★特別支援学校中堅教諭資質向上研修【前期】【後期】	
	22★中堅養護教諭資質向上研修【前期】【後期】	
	23★中堅栄養教諭資質向上研修【前期】【後期】	
	24 小中学校初任者研修拠点校指導教員研修	
	25 特別支援学校初任者研修拠点校指導教員研修	
	26★特別支援学級担当教員初心者研修	
	27 通級指導担当教員初心者研修	
	28★高等学校実習教員研修（A～Cコース）	
	29 県立学校新任生徒指導主事研修	
	30★中学校新任進路指導主事研修	
	31★県立学校新任進路指導主事研修	
	32★小中学校新任教務主任研修	
	33★県立学校新任教務主任研修	
	34 産業教育学科主任研修	
	35 特別支援学校部主事研修	
	36 園長等運営管理研修	
	37★小中学校新任教頭研修	
	38★小中学校新任校長研修	
	39★県立学校新任教頭研修	
	40★県立学校新任校長研修	
	41 公立学校の臨時教員等研修	
	42 指導改善研修	
2	リーダー研修・・・・・・・・・・	31, 32
	43 幼稚園教育課程講座	
	44 保育技術講座	
	45 道徳推進講座	
	46★外国人児童生徒教育講座	
	47 教科情報における文部科学省教材活用講座	
	48 教育研究リーダー養成研修	
	49 県立学校運営講座	
	50 教育相談特別研修	
	51 小中学校社会体験型教員研修	
	52 大学院及び教職大学院派遣研修	
	53 愛知教育大学特別支援教育特別専攻科内地留学研修	
	54 国立特別支援教育総合研究所特別支援教育専門研修	
3	スキル・アップ研修・・・・・・・・・・	33～65
	55 看護科講座	
	56 学校農園活用講座	
	57 安全教育実技講座（大型特殊自動車）	

次

58	農業技術講座（A、Bコース）
59	特別支援教育講座（A～Eコース）
60	★学級・学年づくりに生かす教育相談講座
61	★いじめ・不登校など今日的課題に対応する教育相談講座
62	★教育相談コーディネーター養成講座
63	特別支援学校におけるセンター的機能強化講座
64	★あいちクラスルーム・エバンジェリスト養成研修
65	ICT活用実践講座
	< eラーニング単独講座 >
66	★高等学校国語科講座～授業構想の工夫～
67	★高等学校地理歴史・公民科講座～授業構想の工夫～
68	★高等学校数学科講座～授業構想の工夫1～
69	★高等学校数学科講座～授業構想の工夫2～
70	★高等学校理科講座～授業構想の工夫～
71	★高等学校英語科講座～授業構想の工夫～
72	★理科観察・実験指導基礎講座
73	★主権者教育推進講座
74	★道徳教育講座～考え議論する道徳～
75	★小学校英語の基礎講座
76	★国際英語の教育：理論と実践
77	★Integrating Language & Content in an English Class
78	★産業教育における評価の在り方
79	★G I G A スクール構想の動向について
80	★オンライン教育の効果と課題について
81	★情報モラル教育講座
82	★教師のための情報危機管理講座
83	★カリキュラム・マネジメント講座
84	★効果を上げる授業研究の在り方
85	★校内研修と授業研究の効果的な進め方講座
86	★O J T の推進について
87	★愛知の特別支援教育
88	★発達障害の理解と支援講座（A～Eコース）
89	★事例研究の意義と進め方
90	★児童生徒の強みを生かす教育相談講座
91	★外国人児童生徒教育の現状と課題
92	★E S D（持続発展教育）推進講座
93	★S D G s 理解講座（A、Bコース）
94	★学校安全推進講座（A、Bコース）
95	★地域学校協働活動推進講座（A、Bコース）
96	★社会人としてのマナー
97	★職場のメンタルヘルス講座（A、Bコース）
	* スキル・アップ研修の詳細について・・・・・・・・・・
	36～65
4	事務職員等研修・・・・・・・・・・
	98 新規採用者研修
	99 中堅者前期研修
	100 中堅者後期研修
	101 新任主査研修
	102 現任主査研修
	103 新任事務長・総括事務長研修
	104 県立学校用務員研修
	105 県立学校図書館関係職員研修
V	eラーニング研修の実施について・・・・・・・・・・
	67～72
■	名簿等の様式・・・・・・・・・・
	73～81
	（様式1）研修・講座対象者・参加者名簿（幼稚園等）
	（様式2）スキル・アップ研修（自由応募制）希望者名簿（幼稚園等）
	（様式3）看護科講座希望者名簿（私立高校）
	（様式4）スキル・アップ研修（自由応募制）希望者名簿（事務職員）
	（様式5）教育研究リーダー養成研修（小・中・義務教育学校）参加者推薦書
	（様式6）教育研究リーダー養成研修（県立学校）参加者推薦書
	（様式7）欠席・遅刻・早退届
	（様式E1）eラーニング研修教材にかかる学校等利用申請書
	（様式E2）パスワード再発行申請書
■	参考資料・・・・・・・・・・
	82～86
	・教育研究リーダー養成研修の概要
	・中堅教諭等資質向上研修にかかる在職期間の計算方法・例
	・愛知県総合教育センター案内図（交通案内・周辺案内図）

I 基本方針

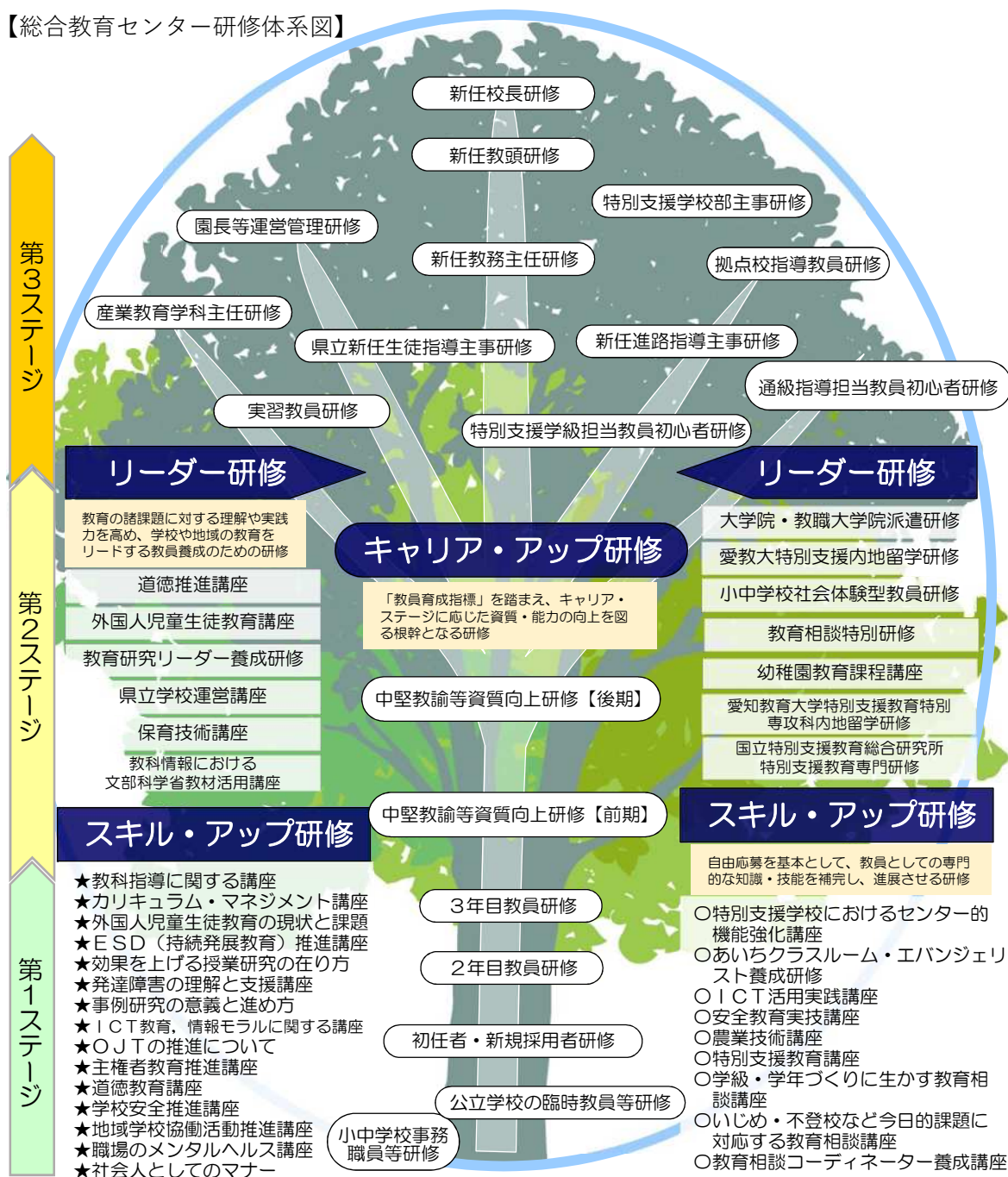
現在の学校教育には、新しい時代に必要となる資質・能力を子どもたちに育むことが求められています。このような教育を実現するためには、教職員一人一人が学校教育の直接の担い手であるという意識を強くもち、自律的かつ主体的な研修に努め、教職員としての資質・能力をいっそう高めるとともに、学校において研修の成果を同僚と互いに共有するなどして、学校組織全体としての指導力向上を図ることが重要です。

総合教育センターでは、これらのことを踏まえ、初任者から中堅者、管理職まで、教職員のキャリアステージに応じた体系的かつ効果的な研修を実施します。

＜研修事業に関する重点＞

- ①学び続ける教員を支援し、素養や指導力、マネジメント力など、一人一人の資質・能力の向上及び高め合う教員集団（組織）の醸成に資すること。
- ②学校が直面している教育課題の解決や、教育活動の活性化と充実に資すること。
- ③急速な社会の変化に伴う教育改革の推進に対応すること。

【総合教育センター研修体系図】



★はeラーニング単独研修

Ⅱ 本案内の見方, 受講に当たっての留意事項等について

この「研修事業案内」には, 研修・講座のねらい, 対象者, 期日, 会場等が示してあります。また, 研修・講座の受講申し込み方法や, 必要な提出書類の各種様式が掲載されています。

キャリア・アップ 研修

p.23~p.30

- 初任者
- 新規採用
養護教諭
栄養教諭
実習教員
寄宿舎指導員
幼稚園等教員
- 2年目教員
- 3年目教員

総合教育センターウェブページ「研修講座事業」
<https://apec.aichi-c.ed.jp/kenshu/index.html>

詳細については, 当センターウェブページに掲載している各研修の手引を御覧ください。
また, 所属長宛てに, 実施要項も送付します。

所属長宛てに送付される実施要項等で, 詳細を御覧ください。

- 中堅教諭【前期】
- 中堅教諭【後期】
- 幼稚園等中堅教諭

詳細については, 当センターウェブページに掲載している「中堅教諭等資質向上研修の手引」を御覧ください。
また, 所属長宛てに実施要項も送付します。

- 職務に関する
研修

各職務に該当する教員を対象とします。

リーダー研修

p.31~p.32

地区（または学校）ごとに人数等が指定してあります。

※43, 44, 46の研修は自由応募もあります。

所属長宛てに送付される実施要項等で, 詳細を御覧ください。

スキル・アップ 研修

p.33~p.65

この研修には自由応募のものと, 地区（または学校）ごとに人数が指定してあるものがあります。本案内p. 33~p. 65を御覧の上, 申し込んでください。申し込まれた方には, 受講の可否を所属長宛てに6月下旬に通知します。また, 研修番号55~65のスキル・アップ研修では, 「追加連絡」をウェブページに掲載（7月上旬）しますので, 確認してください。

なお, 参加者には実施要項を改めて送付しませんので, 本案内p. 36~p. 65に従って所定の日時・場所へお越しください。

事務職員等研修

p.66

ねらいや対象者等が掲載されています。なお, 詳細は別途通知します。

eラーニング研修

p.67~p.72

在校のままで受講できる「eラーニング講座」があります。
また, 研修・講座の一部で「eラーニング研修」を実施します。これは, 主にセンターでの集合研修の事前もしくは事後に研修で学ぶ内容の確認など, 基礎的知識の理解のために受講する研修方法です。

各種様式

p.73~p.81

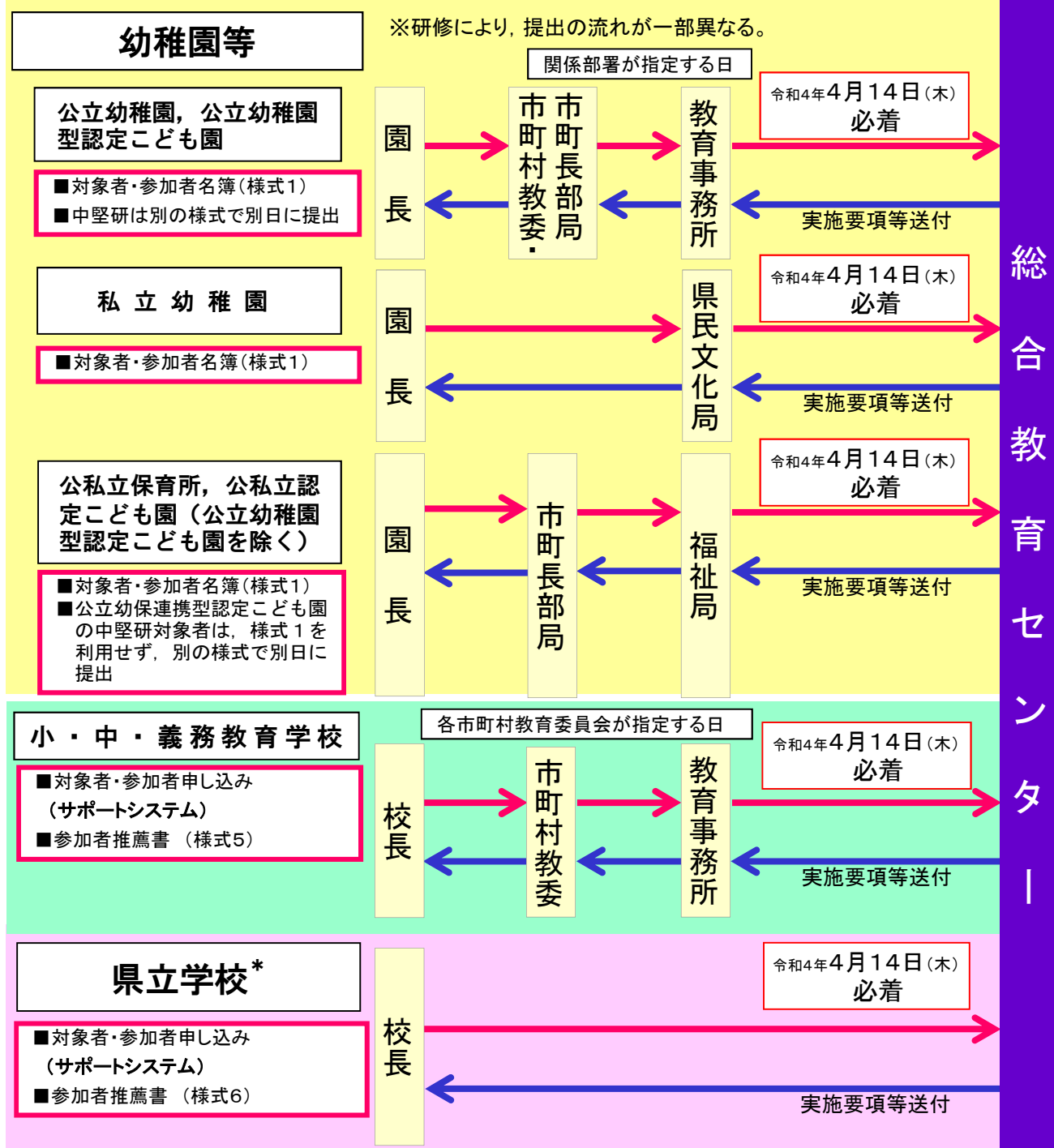
参加申し込み及び欠席・遅刻・早退等に関する各種様式が掲載されています。
※各種様式は, 当センターウェブページからダウンロードできます。

※研修・講座の受講に当たって, 支援や配慮等の必要があれば, 下記まで御相談ください。

研修部企画研修室 電話 0561-38-9506

各種様式については、p.73以降を参照

【キャリア・アップ研修, リーダー研修(指定分), スキル・アップ研修(指定分)】



* 県立学校は、県立（豊橋市立、瀬戸市立、刈谷市立、豊田市立を含む）の高等学校及び特別支援学校を指す。

総合教育センターへ様式等を送付する方法

電子メール

所属アドレス（学校代表アドレス）から送信する。
※個人アドレスから送信しない。

総合教育センター所属アドレス
sogokyoiku-c@pref.aichi.lg.jp

※ただし、学校の所属アドレス（代表アドレス）がない場合は、様式等を印刷し、郵送する。

郵送先：〒470-0151 愛知郡東郷町大字諸輪字上鉾68番地

愛知県総合教育センター研修部企画研修室

*「対象者（参加者・希望者）名簿在中」と朱書きする。

◆申し込み手続き

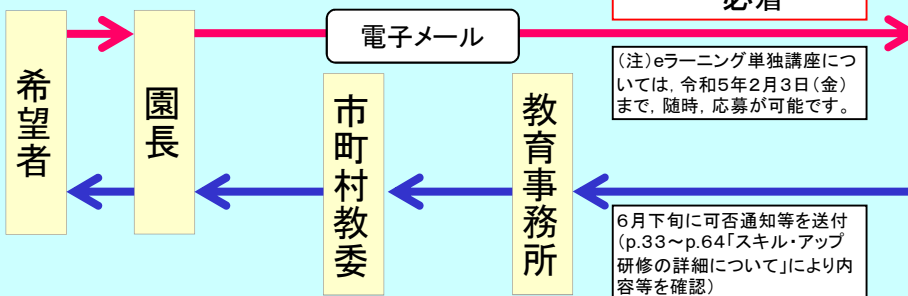
各種様式については、p.73以降を参照

【スキル・アップ研修(自由応募制)】

総合教育センター

幼稚園等

■希望者名簿(様式2)



※研修番号46の講座に自由応募で申し込む場合、
令和4年4月14日(木)必着で(様式1)を提出すること。

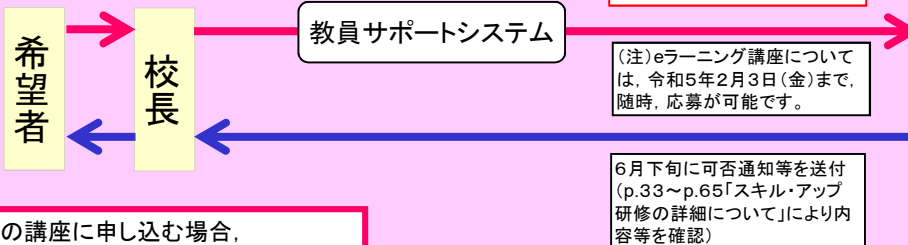
令和4年6月14日(火)
必着

(注)eラーニング単独講座については、令和5年2月3日(金)まで、随時、応募が可能です。

6月下旬に可否通知等を送付
(p.33～p.64「スキル・アップ
研修の詳細について」により内
容等を確認)

小・中・義務教育学校，県立学校*

■参加者申し込み
(サポートシステム)



※研修番号43，44，46の講座に申し込む場合、
令和4年4月14日(木)必着でサポートシステムに入力
すること。

令和4年6月14日(火)
必着

(注)eラーニング講座について
は、令和5年2月3日(金)まで、
随時、応募が可能です。

6月下旬に可否通知等を送付
(p.33～p.65「スキル・アップ
研修の詳細について」により内
容等を確認)

* 県立学校は、県立(豊橋市立、瀬戸市立、刈谷市立、豊田市立を含む)の高等学校及び特別支援学校を指す。

総合教育センターへ様式等を送付する方法

所属アドレス(学校代表アドレス)から送信する。
※個人アドレスから送信しない。



総合教育センター所属アドレス
sogokyoiku-c@pref.aichi.lg.jp

※ただし、学校の所属アドレス(代表アドレス)がない場合は、様式等を印刷し、郵送する。

郵送先：〒470-0151 愛知県東郷町大字諸輪字上鉾68番地

愛知県総合教育センター研修部企画研修室

*「様式〇〇在中」と朱書きする。

◆受講に当たっての留意事項

1 新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修参加者は下記の留意事項を確認の上、研修に参加してください。また、感染拡大の状況に応じて、中止または開催方法が変更になることもあります。その場合は、必要に応じて改めて連絡します。総合教育センターウェブページにも研修の変更を掲載しますので、御参照ください。

○研修参加に当たっての留意事項

- ・新型コロナウイルス感染予防のため、マスクの着用を含む咳エチケットに御協力ください。
- ・朝、自宅で検温を実施し、熱、咳、倦怠感等の症状がある研修者は、管理職と相談の上、研修への参加を御遠慮ください。
- ・携帯用消毒液、除菌シート等を準備できる方は、御持参ください。
- ・会場を常に換気するため、時期によっては防寒着等を御準備ください。

※中止の場合は、当センターのウェブのトップページに「緊急連絡」として中止の旨を掲載するとともに、通知等により連絡をいたします。来所時にはウェブページの「緊急連絡」の有無を御確認ください。

2 総合教育センター利用上の注意

- ・総合教育センターへ来所の際は、できる限り公共交通機関を利用してください。
- ・講師の都合等により、研修・講座内容、日程等が変更になる場合があります。
- ・研修会場での飲食は、指定された場所をお願いします。研修会場へ昼食等で持ち込んだ物は、各自責任をもって必ず持ち帰ってください。
- ・総合教育センターは敷地内全面禁煙です。御理解と御協力をお願いします。

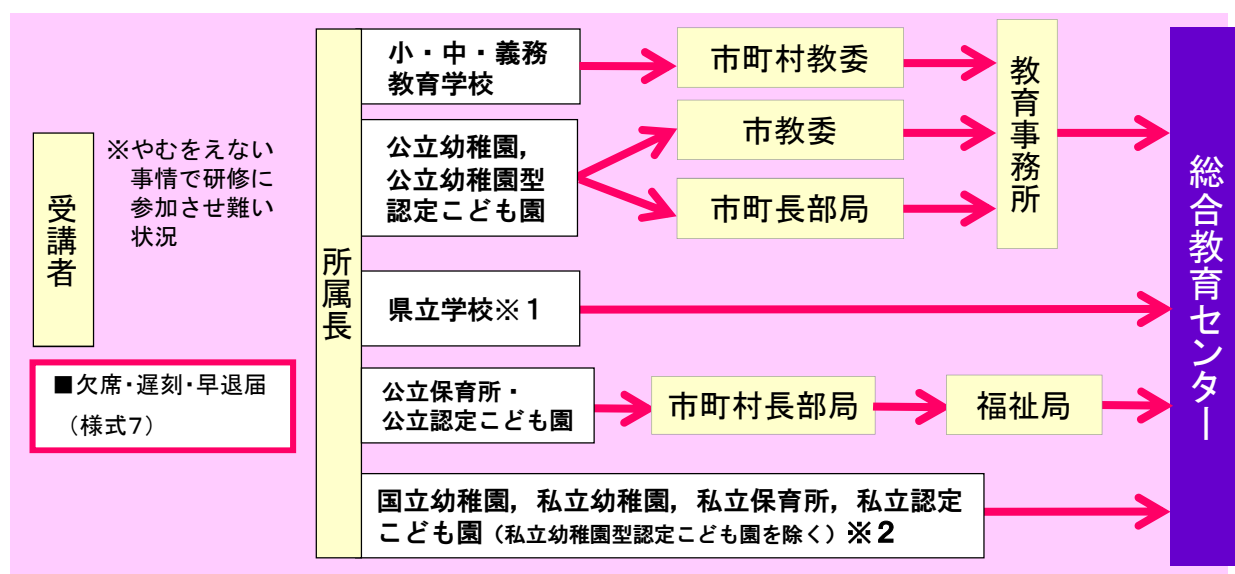
3 提出課題等の送付について

提出課題等を総合教育センターへ送付する場合は、封筒の余白に「研修番号ーコース等記号 ○○講座○○コース▽▽在中」と朱書きしてください。また、メールによる提出を指示する課題もあります。

4 研修・講座欠席等の手続きについて

やむを得ない事情で研修に参加させ難いとき、所属長は様式7により、下の流れに沿って、総合教育センター所長宛てに欠席・遅刻・早退届を提出（郵送先は「企画研修室」、メール送信でも可）してください。

ただし、緊急の場合は、所属長または受講者から直接研修担当者に連絡し、後日、速やかに欠席・遅刻・早退届を提出してください。



※1 県立学校は、県立(豊橋市立、瀬戸市立、刈谷市立、豊田市立を含む)の高等学校及び特別支援学校を指す。

※2 私立幼保連携型認定こども園勤務の受講者は一部提出の流れが異なる。

5 特別警報が発表された場合における研修事業等の取り扱いについて

- 県内のいずれかの地域に特別警報が発表された場合は、当日の全ての集合研修及びオンライン研修を中止する。
- 特別警報がその日のうちに解除された場合も、当日の全ての集合研修及びオンライン研修を中止する。

6 暴風（または暴風雪）警報発表時における研修事業等の取り扱いについて

(1) 午前7時までに県内いずれかの地域で警報が発表された場合

当日の研修	その後の警報の推移	当日の研修の取り扱い
ア 全日の日程で計画されていた集合研修	午前7時の時点で県内全ての地域において警報が解除されている場合	計画どおり実施
	午前7時の時点で県内いずれかの地域で警報が継続されている場合	中止
イ 午前みの日程で計画されていた集合研修	午前7時の時点で県内全ての地域において警報が解除されている場合	計画どおり実施
	午前7時の時点で県内いずれかの地域で警報が継続されている場合	中止
ウ 午後みの日程で計画されていた集合研修	午前10時30分の時点で県内全ての地域において警報が解除されている場合	計画どおり実施
	午前10時30分の時点で県内いずれかの地域で警報が継続されている場合	中止

(2) 午前7時を過ぎてから県内いずれかの地域で警報が発表された場合

当日の研修	当日の研修の取り扱い
当日の全ての集合研修	中止

(3) オンライン研修の場合

原則的に警報の有無にかかわらず研修を開催する。ただし、参加が困難な場合は、欠席等の手続きを行う。

7 地震等における研修事業等の取り扱いについて

南海トラフ沿いで異常な現象が観測された際に、気象庁から情報名の後にキーワードを付記して「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」等の形で情報発表されます。キーワードによって、研修の対応が異なります。

【南海トラフ地震臨時情報（キーワード）】

キーワード	研修の取り扱い
ア 調査中	実施 ※地震の状況により、研修を中止することとなった場合には、総合教育センター所長が所属長に連絡する。
イ 巨大地震警戒	中止 ※総合教育センター所長が所属長に研修再開の連絡をするまでの間は中止とする。
ウ 巨大地震注意	中止 ※総合教育センター所長が所属長に研修再開の連絡をするまでの間は中止とする。

8 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う研修事業等の取り扱いについて

- (1) 県内に緊急事態宣言が発令された場合は、原則、その期間、集合研修を中止とする。
- (2) (1)以外の場合でも、集合研修の実施が困難で、中止または開催方法を変更する場合は改めて通知する。

<上記1, 5, 6, 7, 8における留意事項>

研修事業等の全部または一部を中止した場合の代替措置等については、総合教育センター所長が別に指示します。

Ⅲ-1 研修の申し込み ～幼稚園等～

◆第1期申し込み◆ 令和4年4月14日（木）必着

○研修内容、期日等は p. 23～p. 32 参照

研修番号	研修・講座名	指定	必要書類 ※2	申し込み方法
17	幼稚園等中堅教諭資質向上研修 ※1		様式1	様式をメール送信
36	園長等運営管理研修	○		
43	幼稚園教育課程講座	○		
44	保育技術講座	○		
45	道徳推進講座	○		

※1 研修番号17「幼稚園等中堅教諭資質向上研修」の公立園受講対象者については、別途申し込み済です。

※2 必要書類は、愛知県総合教育センターのウェブページ「研修部」＞「申し込む」からダウンロードできます。

【留意事項及び入力上の注意】

研修番号	研修・講座名	留意事項
17	幼稚園等中堅教諭資質向上研修	○幼稚園等中堅教諭資質向上研修の対象者とは 幼稚園（幼稚園型認定こども園を含む）および幼保連携型認定こども園に勤務する教諭または保育教諭のうち、教職経験が8年または9年を経過した者。 詳細については「幼稚園等中堅教諭資質向上研修の手引」を参照する。 ○在職期間の計算方法について 本案内 p. 83の【参考資料2】幼稚園等中堅教諭資質向上研修にかかる在職期間の計算方法・例による。除算する必要がある場合は、除算した年数を「在職期間」欄に入力する。 ○「選択研修」欄の入力上の注意 7月28日（木）選択研修にて受講したい研修内容をリストから選択して入力する。 （できる限り希望の研修を受けられるよう配慮するが、定員の都合により希望外の研修内容になることもある。）
36	園長等運営管理研修	指定 ○以前に参加したことがある者は「在職期間」欄に「有（園長経験年数）」をリストから選択し、参加したことがない者は「初（園長経験年数）」をリストから選択する。 （例）「有（○年）」、「初（○年）」
43	幼稚園教育課程講座	指定 ○在職期間は異動等による園種を問わず、保育経験年数をリストから選択する。 ○以下の2分科会のうち、別途指示があった分科会に参加する。 【共通協議主題（共通）】 「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論等を踏まえ、 幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について 【協議主題2（2）】 指導計画の作成、保育の展開、指導の過程の評価・改善について ・「教育課程分科会」欄に参加する部会の番号（共通か②のいずれか）をリストから選択する。 ・司会は備考欄に「司会」と入力する。

◆第2期申し込み◆（自由応募制研修・講座） 令和4年6月14日（火）必着

○研修内容，期日等は p. 33～p. 65 参照

研修番号	研修・講座名	必要書類 ※	申し込み方法
56	学校農園活用講座	様式2	様式2をメール送信
58	農業技術講座（Aコース）		
59	特別支援教育講座（A～Eコース）		

◆eラーニング単独講座申し込み◆ 令和5年2月3日（金）まで随時受付

研修番号	研修・講座名	必要書類 ※	申し込み方法
66～97	p. 46～p. 65 参照	様式2	様式2をメール送信

※ 必要書類は，愛知県総合教育センターのウェブページ「研修部」＞「申し込む」からダウンロードできます。

Ⅲ-2 申し込み手続き ～小・中・義務教育学校～

再任用教諭・臨時的任用教員等、氏名リストに表示されない職員については、サポートシステムの学校ページにログインし、「職員名・学校情報の修正・登録・変更・受講履歴照会」メニューから職員の登録を行った上で申し込み手続きを行ってください。

◆第1期申し込み◆ 令和4年4月14日（木）センター締め切り

○申し込みは「教員サポートシステム」

○研修内容、期日等は p. 23～p. 32 参照

○研修番号24「小中学校初任者研修拠点校指導教員研修」については、研修の申し込みは不要です。

別途送付する様式で希望を取ります。

研修番号	研修・講座名	指定	自由応募	サポートシステム備考欄への記載	必要書類 ※
1	小学校初任者研修			○	
2	中学校初任者研修			○	
5	新規採用養護教諭研修			○	
6	新規採用栄養教諭研修			○	
9	小学校2年目教員研修			受講対象であるが 受講できない場合 のみ	
10	中学校2年目教員研修				
13	小学校3年目教員研修				
14	中学校3年目教員研修				
18 19 22 23	小学校中堅教諭資質向上研修 中学校中堅教諭資質向上研修 中堅養護教諭資質向上研修 中堅栄養教諭資質向上研修 【前期】、【後期】、【後期・弾力化MS】、【後期・弾力化M】、【後期・弾力化S】			○	
26	特別支援学級担当教員初心者研修			○	
27	通級指導担当教員初心者研修			○	
30	中学校新任進路指導主事研修				
32	小中学校新任教務主任研修				
37	小中学校新任教頭研修				
38	小中学校新任校長研修				
45	道徳推進講座	○			
46	外国人児童生徒教育講座	○	○	○	
48	教育研究リーダー養成研修	○			様式5

※ 必要書類は、愛知県総合教育センターのウェブページ「研修部」＞「申し込む」からダウンロードできます。

必要事項を記入し、所属アドレス（学校代表アドレス）から総合教育センター所属アドレスへメール送信してください。

【申し込み及びサポートシステム入力上の留意事項等】

研修 番号	研修・講座名	留意事項
1	小学校初任者研修	○サポートシステム申し込み画面の「備考」欄に所属学年等を以下のとおり<u>半角数字</u>で入力する。 ◆1年～6年→「1」～「6」のいずれか ◆複式学級→「7」, 特別支援→「8」, 専科→「9」, 通級→「10」, その他→「11」 ○「宿泊研修の集団体験活動」欄で、宿泊研修で希望する研修を①～④から選択する。 ① 音楽教室, ② ダンス・ゲーム教室, ③ ファイア教室, ④ 1～3のどれでもよい
2	中学校初任者研修	○サポートシステム申し込み画面の「備考」欄に所属学年等を以下のとおり<u>半角数字</u>で入力する。 ◆1年～3年→「1」～「3」のいずれか ◆複式学級→「4」, 特別支援→「5」, 通級→「6」, その他→「7」 ○「宿泊研修の集団体験活動」欄のリストから、宿泊研修で希望する研修を①～④から選択する。 ① 音楽教室, ② ダンス・ゲーム教室, ③ ファイア教室, ④ 1～3のどれでもよい
5	新規採用養護教諭研修	○サポートシステム申し込み画面の「宿泊研修の集団体験活動」欄のリストから、宿泊研修で希望する研修を①～④から選択する。 ただし、①は高等学校・特別支援学校の選択肢であるため選択しない。 ① 高等学校・特別支援学校新規採用者, ② 音楽教室, ③ ダンス・ゲーム教室, ④ 2・3のどちらでもよい
6	新規採用栄養教諭研修	○サポートシステム申し込み画面の「宿泊研修の集団体験活動」欄のリストから、宿泊研修で希望する研修を①～④から選択する。 ただし、①は特別支援学校の選択肢であるため選択しない。 ① 特別支援学校新規採用者, ② 音楽教室, ③ ダンス・ゲーム教室, ④ 2・3のどちらでもよい
9 10	小学校2年目教員研修 中学校2年目教員研修	○令和3年度に小・中学校初任者研修を受講した者。受講していない者は除く。 ○受講対象者であるが本年度受講できない者は、サポートシステム申し込み画面「手順2」で「延期・対象外（2・3年研, 中堅研）」を選択し、「備考」欄に理由を入力する。（例）育児休業中
13 14	小学校3年目教員研修 中学校3年目教員研修	○令和2年度に小・中学校初任者研修を受講した者。受講していない者は除く。 ○受講対象者であるが本年度受講できない者は、サポートシステム申し込み画面「手順2」で「延期・対象外（2・3年研, 中堅研）」を選択し、「備考」欄に理由を入力する。（例）育児休業中

研修 番号	研修・講座名	留意事項																		
1 8	小学校中堅教諭資質 向上研修	・受講対象者については、 p. 24～p. 25を参照する。 <サポートシステム申し込み画面について> 本年度受講する者 ○「手順2」で「第1期申し込み」を選択し、必要に応じて選択や「備考」欄に下表(1)～(4)を参考にして入力する。 ○「備考」欄に所属学年等を以下のとおり半角数字で入力する（養護教諭・栄養教諭は入力不要）。 ○1年～6年→「1」～「6」のいずれか ○複式学級→「7」、特別支援→「8」、専科→「9」、通級→「10」、日本語→「11」、その他→「12」 ○「選択領域」入力上の注意 ◆「選択教科」について（養護教諭、栄養教諭は入力不要） 令和4年度に授業実践できる教科で、免許教科または専門性を高めたい教科を、下記の教科の中から選んで入力する（[選択不可の例]に注意する）。 ・小・中・義務教育学校（前期課程）のみ<生活、小学校外国語> ・小・義務教育学校（後期課程）のみ<英語、技術> [選択不可の例] 次の場合は、令和4年度に授業実践ができないため選択できない。 ×小学校教諭の「技術」 ×小学校1・2年生担任教諭の「社会」「理科」「小学校外国語」 ×小学校1～4年生担任教諭の「家庭」 ×小学校3～6年生担任教諭の「生活」 ◆「選択研修」欄の入力上の注意 以下の日程に実施される選択研修にて受講したい研修内容をリストから第2希望まで選択する（内容の詳細は、「中堅教諭等資質向上研修の手引」を参照する。養護教諭・栄養教諭は夏季のみ入力する）。 【前期】小学校8月19日（金）、中学校8月22日（月） 【後期】小学校8月2日（火）・12月26日（月） 中学校8月3日（水）・12月27日（火） （できる限り希望の研修を受けられるよう配慮するが、定員の都合により希望外の研修内容になることもある） ○【後期】弾力化希望の選択については、「研修講座の選択」において、リストから「弾力化MS」「弾力化M」「弾力化S」のいずれかを選択する。ただし、MS両方を前倒して希望しても、定員の関係でどちらか一方しか受講できない場合もある。 ○【後期】弾力化受講希望者は、主任等の役割があれば「備考」欄に下表(4)を参考にして入力する。 <table><tr><th>区分</th><th>「備考」欄への入力</th></tr><tr><td>(1) 研修の受講を延期していた者が、令和4年度に研修を受講する場合</td><td>○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例)○令和3年度まで育児休業</td></tr><tr><td>(2) 他府県や異校種での経験があるため、令和4年度に対象者になる場合</td><td>※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例)※対象者（本県3年目で他県3年経験）</td></tr><tr><td>(3) 任用替えの栄養教諭</td><td>◆印を付し、任用替えをした年度を入力する。</td></tr><tr><td>(4) 【後期】弾力化希望者</td><td>主任等の役割があれば入力する。 (例)生徒指導主事</td></tr></table> ※複数項目に該当する場合は項目ごとに改行をする 受講対象者であるが本年度受講しない者 ○「手順2」で「延期・対象外（2・3年研、中堅研）」を選択し、「備考」欄に下表のように入力する。 <table><tr><th>区分</th><th>「備考」欄への入力</th></tr><tr><td>(1) 対象者であるが、令和4年度の研修の受講を延期する場合</td><td>△印を付し、延期の理由（育児休業等）を入力する。 (例)「△育児休業2年」</td></tr><tr><td>(2) 研修の受講を延期していた者が、令和4年度も引き続き延期する場合</td><td>□印を付し、更に延期の理由を入力する。 (例)□令和4年度育児休業</td></tr><tr><td>(3) 他府県や異校種での経験があるため、令和4年度に対象者から外れる場合</td><td>※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例)※対象者でない（他県で実施済み）</td></tr></table>	区分	「備考」欄への入力	(1) 研修の受講を延期していた者が、令和4年度に研修を受講する場合	○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例)○令和3年度まで育児休業	(2) 他府県や異校種での経験があるため、令和4年度に対象者になる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例)※対象者（本県3年目で他県3年経験）	(3) 任用替えの栄養教諭	◆印を付し、任用替えをした年度を入力する。	(4) 【後期】弾力化希望者	主任等の役割があれば入力する。 (例)生徒指導主事	区分	「備考」欄への入力	(1) 対象者であるが、令和4年度の研修の受講を延期する場合	△印を付し、延期の理由（育児休業等）を入力する。 (例)「△育児休業2年」	(2) 研修の受講を延期していた者が、令和4年度も引き続き延期する場合	□印を付し、更に延期の理由を入力する。 (例)□令和4年度育児休業	(3) 他府県や異校種での経験があるため、令和4年度に対象者から外れる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例)※対象者でない（他県で実施済み）
区分	「備考」欄への入力																			
(1) 研修の受講を延期していた者が、令和4年度に研修を受講する場合	○印を付し、延期していた理由を入力する。 (例)○令和3年度まで育児休業																			
(2) 他府県や異校種での経験があるため、令和4年度に対象者になる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例)※対象者（本県3年目で他県3年経験）																			
(3) 任用替えの栄養教諭	◆印を付し、任用替えをした年度を入力する。																			
(4) 【後期】弾力化希望者	主任等の役割があれば入力する。 (例)生徒指導主事																			
区分	「備考」欄への入力																			
(1) 対象者であるが、令和4年度の研修の受講を延期する場合	△印を付し、延期の理由（育児休業等）を入力する。 (例)「△育児休業2年」																			
(2) 研修の受講を延期していた者が、令和4年度も引き続き延期する場合	□印を付し、更に延期の理由を入力する。 (例)□令和4年度育児休業																			
(3) 他府県や異校種での経験があるため、令和4年度に対象者から外れる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 (例)※対象者でない（他県で実施済み）																			
1 9	中学校中堅教諭資質 向上研修																			
2 2	中堅養護教諭資質向 上研修																			
2 3	中堅栄養教諭資質向 上研修																			
	【後期】は弾力化 を含む																			

研修 番号	研修・講座名	留意事項
26	特別支援学級担当教員初心者研修	○令和4年度に特別支援学級を初めて担当する教員全員。ただし、過去に特別支援学校で勤務した者及び特別支援学級を担当したものを除く。 ◆令和3年度に本研修を申し込んだが、研修の中止により受講できなかった教員には、自由応募の59「特別支援教育講座（A～E）」の申し込みを推奨する。 ○サポートシステム申し込み画面で、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、自閉症・情緒障害を選択する。
27	通級指導担当教員初心者研修	○通級指導を初めて担当する教員全員が対象。 ○サポートシステム申し込み画面で、言語障害、自閉症、情緒障害、弱視、難聴、学習障害、注意欠陥多動性障害等を選択する。
30	中学校新任進路指導主事研修	○中学校、義務教育学校の新任進路指導主事全員（令和4年度より新任のみ対象）。 （経験の有無は歴任校も含める）。 ○令和3年度途中に新たに進路指導主事になった者で、本研修を受講していない者も対象とする。
32	小中学校新任教務主任研修	○新任教務主任全員。 ○令和3年度途中に新たに教務主任になった者で、本研修を受講していない者も対象とする。 ○義務教育学校は、サポートシステム申し込み画面の「備考」欄に前期課程もしくは後期課程を入力する。
37	小中学校新任教頭研修	○新任教頭全員 ○令和3年度途中に昇任した者で、本研修を受講していない者も対象とする。
38	小中学校新任校長研修	○新任校長全員 ○令和3年度途中に昇任した者で、本研修を受講していない者も対象とする。
45	道徳推進講座 指定	○道徳推進教師が対象
46	外国人児童生徒教育講座 指定 ・ 自由応募	○外国人児童生徒教育担当教員及び担当する可能性のある教員で、過去に本講座を受講していない者。 ＜サポートシステム申し込み画面について＞ ○研修名を選択する際、「地区指定」「自由応募」を必ず区別する。 ○「備考」欄に「外国人児童生徒教育担当」の経験年数を「○年」と入力する。 経験年数は前任校も含めて入力し、初めての担当の場合は「初」と入力する。
48	教育研究リーダー養成研修 指定	○本案内 p.82に示す「応募条件」を満たす者について入力する。 ○別に（様式5）「教育研究リーダー養成研修（小・中・義務教育学校）参加者推薦書」を、各市町村教育委員会が指定する日までにメールで提出する。

◆第2期申し込み◆（自由応募制） 令和4年6月14日（火）締め切り

○申し込みは「教員サポートシステム」

○研修内容、期日等は p. 33～p. 65 参照

研修番号	研修・講座名	サポートシステム備考欄への記載
56	学校農園活用講座	
58	農業技術講座A	
59	特別支援教育講座A～E	○
60	学級・学年づくりに生かす教育相談講座	
61	いじめ・不登校など今日的課題に対応する教育相談講座	
62	教育相談コーディネーター養成講座	
65	ICT活用実践講座	

【申し込み及びサポートシステム入力上の留意事項等】

研修番号	研修・講座名	留意事項
59	特別支援教育講座A～E	サポートシステム申し込み画面の「備考」欄に、受講者の担当学級等を以下のように入力する。 「通常の学級」、「通級」、特別支援学級の場合は「自閉症・情緒障害」「知的障害」「肢体不自由」「病弱・身体虚弱」「弱視」「難聴」「言語障害」

◆eラーニング単独講座申し込み◆ 令和5年2月3日（金）まで随時受付

○申し込みは「教員サポートシステム」

研修番号	研修・講座名
66～97	p. 46～p. 65 参照

Ⅲ-3 申し込み手続き ～高等学校～

再任用教諭・臨時的任用教員等、氏名リストに表示されない職員については、サポートシステムの学校ページにログインし、「職員名・学校情報の修正・登録・変更・受講履歴照会」メニューから職員の登録を行った上で申し込み手続きを行ってください。

◆第1期申し込み◆ 令和4年4月14日（木）締め切り

○申し込みは「教員サポートシステム」

○研修内容、期日等は p. 23～p. 32 参照

研修番号	研修・講座名	指定	自由応募	サポートシステム備考欄への記載	必要書類 ※1
3	高等学校初任者研修				
5	新規採用養護教諭研修				
7	県立学校新規採用実習教員・寄宿舎指導員研修				
11	高等学校2年目教員研修			受講対象であるが受講できない場合のみ	
15	高等学校3年目教員研修				
20 22	高等学校中堅教諭資質向上研修 中堅養護教諭資質向上研修 【前期】【後期】、【後期・弾力化MS】 【後期・弾力化M】【後期・弾力化S】			○	
28	高等学校実習教員研修A～C				
29	県立学校新任生徒指導主事研修				
31	県立学校新任進路指導主事研修				
33	県立学校新任教務主任研修				
34	産業教育学科主任研修			○	
39	県立学校新任教頭研修				
40	県立学校新任校長研修				
46	外国人児童生徒教育講座	○	○	○	
47	教科情報における文部科学省教材活用講座	○			
48	教育研究リーダー養成研修	○			様式6
60	学級・学年づくりに生かす教育相談講座	○	※2		
61	いじめ・不登校など今日的課題に対応する教育相談講座	○			
62	教育相談コーディネーター養成講座	○			
64	あいちクラスルーム・エバンジェリスト養成研修	○	※2		

研修番号41「公立学校の臨時教員等研修」の申し込みについては、別途送付する実施要項等でお知らせします。

※1 必要書類は、愛知県総合教育センターのウェブページ「研修部」>「申し込む」からダウンロードできます。

必要事項を記入し、所属アドレス（学校代表アドレス）から総合教育センター所属アドレスへメール送信してください。

※2 自由応募は第2期に申し込んでください。

【申し込み及びサポートシステム入力上の留意事項等】

研修番号	研修・講座名	留意事項										
3	高等学校初任者研修	○該当する初任者を登録する。										
5	新規採用養護教諭研修	○サポートシステム申し込み画面の「宿泊研修の集団体験活動」欄のリストは、下記の①～④のうち①を選択する。 ① 高等学校・特別支援学校新規採用者、② 音楽教室、③ ダンス・ゲーム教室、 ④ 2・3のどちらでもよい										
1 1	高等学校2年目教員研修	○2年目教員研修対象者とは、高等学校に勤務する教諭または養護教諭で、令和3年度の初任者研修または新規採用者研修の受講対象であった者を指す（県外で令和3年度の初任者研修または新規採用者研修の受講対象であった者を含む）。 ○受講対象者であるが本年度受講できない者は、サポートシステム申し込み画面「手順2」で「延期・対象外（2・3年研、中堅研）」を選択し、「備考」欄に理由を入力する。（例）育児休業中										
1 5	高等学校3年目教員研修	○3年目教員研修対象者とは、高等学校に勤務する教諭または養護教諭で、令和2年度に愛知県に教員として採用された者全員を指す（令和元年以前の教職経験の有無は問わない）。 ○受講対象者であるが本年度受講できない者は、サポートシステム申し込み画面「手順2」で「延期・対象外（2・3年研、中堅研）」を選択し、「備考」欄に理由を入力する。（例）育児休業中										
2 0	高等学校中堅教諭資質向上研修	○受講対象者については、p. 24～p. 25を参照する。 ＜サポートシステム申し込み画面について＞ 本年度受講する者 ○「手順2」で「第1期申し込み」を選択し、必要に応じて選択や「備考」欄に下表（1）～（4）を参考にして入力する。 ○「選択研修」欄の選択上の注意 以下の日程に実施される選択研修にて受講したい研修内容をリストから第2希望まで選択する（内容の詳細は、「中堅教諭等資質向上研修の手引」を参照する）。 【前期】7月22日（金） 【後期】7月25日（月） （できる限り希望の研修を受けられるよう配慮するが、定員の都合により希望外の研修内容になることもある） ○【後期】弾力化希望の選択については、「手順3：研修講座の選択」において、リストから「弾力化MS」「弾力化M」「弾力化S」のいずれかを選択する。ただし、MS両方を前倒して希望しても、定員の関係でどちらか一方しか受講できない場合もある。										
2 2	中堅養護教諭資質向上研修	○【後期】弾力化受講希望者は、主任等の役割があれば「備考」欄に下表（4）を参考にして入力する。										
	【後期】は弾力化を含む	<table><tr><th>区分</th><th>「備考」欄への入力</th></tr><tr><td>（1）担当教科が「理科」である者</td><td>実習の分野（物理、化学、生物の中から一つ） （例）物理</td></tr><tr><td>（2）研修の受講を延期していた者が、令和4年度に研修を受講する場合</td><td>○印を付し、延期していた理由を入力する。 （例）○令和3年度まで育児休業</td></tr><tr><td>（3）他府県や異校種での経験があるため、令和4年度に対象者になる場合</td><td>※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 （例）※対象者（本県3年目で他県3年経験）</td></tr><tr><td>（4）【後期】弾力化希望者</td><td>主任等の役割があれば入力する。 （例）生徒指導主事</td></tr></table>	区分	「備考」欄への入力	（1）担当教科が「理科」である者	実習の分野（物理、化学、生物の中から一つ） （例）物理	（2）研修の受講を延期していた者が、令和4年度に研修を受講する場合	○印を付し、延期していた理由を入力する。 （例）○令和3年度まで育児休業	（3）他府県や異校種での経験があるため、令和4年度に対象者になる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 （例）※対象者（本県3年目で他県3年経験）	（4）【後期】弾力化希望者	主任等の役割があれば入力する。 （例）生徒指導主事
区分	「備考」欄への入力											
（1）担当教科が「理科」である者	実習の分野（物理、化学、生物の中から一つ） （例）物理											
（2）研修の受講を延期していた者が、令和4年度に研修を受講する場合	○印を付し、延期していた理由を入力する。 （例）○令和3年度まで育児休業											
（3）他府県や異校種での経験があるため、令和4年度に対象者になる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 （例）※対象者（本県3年目で他県3年経験）											
（4）【後期】弾力化希望者	主任等の役割があれば入力する。 （例）生徒指導主事											

※複数項目に該当する場合は項目ごとに改行をする

研修 番号	研修・講座名	留意事項								
20	高等学校中堅教諭資 質向上研修	受講対象者であるが本年度受講しない者 ○「手順2」で「延期・対象外（2・3年研，中堅研）」を選択し，「備考」欄に下表の ように入力する。 <table><tr><th>区分</th><th>「備考」欄への入力</th></tr><tr><td>(1) 対象者であるが，令和4年度の研修の 受講を延期する場合</td><td>△印を付し，延期の理由（育児休業等）を入力 する。（例）△育児休業2年</td></tr><tr><td>(2) 研修の受講を延期していた者が，令和 4年度も引き続き延期する場合</td><td>□印を付し，更に延期の理由を入力する。 （例）□令和4年度育児休業</td></tr><tr><td>(3) 他府県や異校種での経験があるため， 令和4年度は対象者から外れる場合</td><td>※印を付し，その事情を簡潔に入力する。 （例）※対象者でない（他県で実施済み）</td></tr></table>	区分	「備考」欄への入力	(1) 対象者であるが，令和4年度の研修の 受講を延期する場合	△印を付し，延期の理由（育児休業等）を入力 する。（例）△育児休業2年	(2) 研修の受講を延期していた者が，令和 4年度も引き続き延期する場合	□印を付し，更に延期の理由を入力する。 （例）□令和4年度育児休業	(3) 他府県や異校種での経験があるため， 令和4年度は対象者から外れる場合	※印を付し，その事情を簡潔に入力する。 （例）※対象者でない（他県で実施済み）
区分	「備考」欄への入力									
(1) 対象者であるが，令和4年度の研修の 受講を延期する場合	△印を付し，延期の理由（育児休業等）を入力 する。（例）△育児休業2年									
(2) 研修の受講を延期していた者が，令和 4年度も引き続き延期する場合	□印を付し，更に延期の理由を入力する。 （例）□令和4年度育児休業									
(3) 他府県や異校種での経験があるため， 令和4年度は対象者から外れる場合	※印を付し，その事情を簡潔に入力する。 （例）※対象者でない（他県で実施済み）									
22	中堅養護教諭資質向 上研修									
	【後期】は弾力化 を含む									
28	高等学校実習教員研 修 指定	○地区センター委員による調整結果に基づき，参加者がある学校のみ入力する。								
29	県立学校新任生徒指 導主事研修	○高等学校，特別支援学校（高等部）の新任生徒指導主事全員 ○特別支援学校（中学部）の新任生徒指導主事のうち，参加を希望する教員 ○令和3年度途中に新たに生徒指導主事になった者で，本研修を受講していない者も 対象とする。								
31	県立学校新任進路 指導主事研修	○高等学校，特別支援学校（高等部）の 新任進路指導主事全員（令和4年度より新任 のみ対象とする） 。 ○新任とは，これまでに進路指導主事の経験の無い者を指す（経験の有無は前任校も 含める）。 ○令和3年度途中に新たに進路指導主事になった者で，本研修を受講していない者も 対象とする。								
33	県立学校新任教務主 任研修	○高等学校，特別支援学校（全ての部）の新任教務主任全員 ○令和3年度途中に新たに教務主任になった者で，本研修を受講していない者も対象 とする。								
34	産業教育学科主任研 修	○工業・商業は大学科で1人，農業・水産・家庭・看護・福祉は学科主任全員 ○サポートシステム申し込み画面の「備考」欄に大学科名・小学科名を入力する。								
39	県立学校新任教頭研 修	○新任教頭全員 ○令和3年度途中に昇任した者で，本研修を受講していない者も対象とする。								
40	県立学校新任校長研 修	○新任校長全員 ○令和3年度途中に昇任した者で，本研修を受講していない者も対象とする。								
46	外国人児童生徒教育 講座 指定・自由応募	○外国人児童生徒教育担当教員及び担当する可能性のある教員で，過去に本講座を受 講していない者。 ＜サポートシステム申し込み画面について＞ ○研修名を選択する際，「地区指定」「自由応募」を必ず区別する。 ○「備考」欄に「外国人児童生徒教育担当」の経験年数を「○年」と入力する。 経験年数は前任校も含めて入力し，初めての担当の場合は「初」と入力する。								
47	教科情報における文 部科学省教材活用講 座 指定	○地区センター委員による調整結果に基づき，参加者がある学校のみ入力する。								
48	教育研究リーダー養 成研修 指定	○本案内 p.82に示す「応募条件」を満たす者について入力する。 ○別に（様式6）「教育研究リーダー養成研修（県立学校）参加者推薦書」を， 4月14日（木）までにセンターへメール送信する。								

研修 番号	研修・講座名	留意事項
60	学級・学年づくりに 生かす教育相談講座 指定	○地区センター委員による調整結果に基づき、参加者がある学校のみ入力する。 ○自由応募による参加者については、第2期募集時に申し込む。
61	いじめ・不登校など 今日的課題に対応する 教育相談講座 指定	
62	教育相談コーディネ ーター養成講座 指定	
64	あいちクラスルー ム・エバンジェリス ト養成研修 指定	○地区センター委員による調整結果に基づき、参加者がある学校のみ入力する。 ○自由応募による参加者については、第2期募集時に申し込む。

◆第2期申し込み◆（自由応募制研修・講座） 令和4年6月14日（火）締め切り

○申し込みは「教員サポートシステム」

○研修内容、期日等は p. 33～p. 65 参照

研修 番号	研修・講座名	サポートシステム 備考欄への記載
55	看護科講座	
56	学校農園活用講座	
57	安全教育実技講座（大型特殊自動車）	
58	農業技術講座 A・B	
59	特別支援教育講座 A～E	○
60	学級・学年づくりに生かす教育相談講座	
61	いじめ・不登校など今日的課題に対応する教育相談講座	
62	教育相談コーディネーター養成講座	
64	あいちクラスルーム・エバンジェリスト養成研修	

【申し込み及びサポートシステム入力上の留意事項等】

研修 番号	研修・講座名	留意事項
59	特別支援教育講座 A～E	○サポートシステム申し込み画面の「備考」欄に、受講者が通級学級担当である場合は、「通級」と入力する。

◆eラーニング単独講座申し込み◆ 令和5年2月3日（金）まで随時受付

○申し込みは「教員サポートシステム」

研修番号	研修・講座名
66～97	p. 46～p. 65 参照

Ⅲ-4 申し込み手続き ～特別支援学校～

再任用教諭・臨時的任用教員等、氏名リストに表示されない職員については、サポートシステムの学校ページにログインし、「職員名・学校情報の修正・登録・変更・受講履歴照会」メニューから職員の登録を行った上で申し込み手続きを行ってください。

◆第1期申し込み◆ 令和4年4月14日（木）必着

○申し込みは「教員サポートシステム」

○研修内容、期日等は p. 23～p. 32 参照

研修番号	研修・講座名	指定	自由応募	サポートシステム備考欄への記載	必要書類 ※
4	特別支援学校初任者研修				
5	新規採用養護教諭研修				
6	新規採用栄養教諭研修				
7	県立学校新規採用実習教員・寄宿舎指導員研修				
12	特別支援学校2年目教員研修			受講対象であるが受講できない場合のみ	
16	特別支援学校3年目教員研修				
21 22 23	特別支援学校中堅教諭資質向上研修 中堅養護教諭資質向上研修 中堅栄養教諭資質向上研修 【前期】【後期】、【後期・弾力化MS】 【後期・弾力化M】【後期・弾力化S】			○	
25	特別支援学校初任者研修拠点校指導教員研修				
27	通級指導担当教員初心者研修				
29	県立学校新任生徒指導主事研修				
31	県立学校新任進路指導主事研修				
33	県立学校新任教務主任研修				
35	特別支援学校部主事研修				
39	県立学校新任教頭研修				
40	県立学校新任校長研修				
43	幼稚園教育課程講座		幼稚園部	○	
44	保育技術講座		幼稚園部		
46	外国人児童生徒教育講座		○	○	
48	教育研究リーダー養成研修	○			様式6
63	特別支援学校におけるセンター的機能強化講座	○		○	

研修番号41「公立学校の臨時教員等研修」の申し込みについては、別途送付する実施要項等でお知らせします。

※ 必要書類は、愛知県総合教育センターのウェブページ「研修部」＞「申し込む」からダウンロードできます。

必要事項を記入し、所属アドレス（学校代表アドレス）から総合教育センター所属アドレスへメール送信してください。

【申し込み及びサポートシステム入力上の留意事項等】

研修番号	研修・講座名	留意事項																		
4	特別支援学校初任者研修	○該当する初任者を登録する。																		
1 2	特別支援学校 2 年目教員研修	○ 2 年目教員研修対象者とは、特別支援学校に勤務する教諭、養護教諭または栄養教諭で、令和 3 年度の初任者研修または新規採用者研修の受講対象であった者を指す（県外で令和 3 年度の初任者研修または新規採用者研修の受講対象であった者を含む）。 ○受講対象者であるが本年度受講できない者は、サポートシステム申し込み画面「手順 2」で「延期・対象外（2・3 年研，中堅研）」を選択し、「備考」欄に理由を入力する。（例）育児休業中																		
1 6	特別支援学校 3 年目教員研修	○ 3 年目教員研修対象者とは、特別支援学校に勤務する教諭、養護教諭または栄養教諭で、令和 2 年度に愛知県に教員として採用された者全員を指す（令和元年以前の教職経験の有無は問わない）。 ○受講対象者であるが本年度受講できない者は、サポートシステム申し込み画面「手順 2」で「延期・対象外（2・3 年研，中堅研）」を選択し、「備考」欄に理由を入力する。（例）育児休業中																		
2 1	特別支援学校中堅教諭資質向上研修	○受講対象者については、p. 24～p. 25を参照する。 ＜サポートシステム申し込み画面について＞ 本年度受講する者 ○「手順 2」で「第 1 期申し込み」を選択し、必要に応じて選択や「備考」欄に下表（1）～（4）を参考にして入力する。 ○「選択研修」欄の選択上の注意 以下の日程に実施される選択研修にて受講したい研修内容をリストから第 2 希望、もしくは第 3 希望まで選択する（内容の詳細は、「中堅教諭等資質向上研修の手引」を参照する。養護教諭・栄養教諭は、【後期】 7 月 25 日のみ入力する）。 【前期】 7 月 28 日（木） 【後期】 7 月 25 日（月）・8 月 1 日（月） （できる限り希望の研修を受けられるよう配慮するが、定員の都合により希望外の研修内容になることもある）																		
2 2	中堅養護教諭資質向上研修	○【後期】弾力化希望の選択については、「手順 3：研修講座の選択」において、リストから「弾力化MS」「弾力化M」「弾力化S」のいずれかを選択する。ただし、MS 両方を前倒して希望しても、定員の関係でどちらか一方しか受講できない場合もある。																		
2 3	中堅栄養教諭資質向上研修	○【後期】弾力化受講希望者は、主任等の役割があれば「備考」欄に下表（4）を参考にして入力する。																		
	【後期】は弾力化を含む	<table><tr><th>区分</th><th>「備考」欄への入力</th></tr><tr><td>（1）研修の受講を延期していた者が、令和 4 年度に研修を受講する場合</td><td>○印を付し、延期していた理由を入力する。 （例）○令和 3 年度まで育児休業</td></tr><tr><td>（2）他府県や異校種での経験があるため、令和 4 年度に対象者になる場合</td><td>※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 （例）※対象者（本県 3 年目で他県 3 年経験）</td></tr><tr><td>（3）任用替えの栄養教諭</td><td>◆印を付し、任用替えをした年度を入力する。</td></tr><tr><td>（4）【後期】弾力化希望者</td><td>主任等の役割があれば入力する。 （例）生徒指導主事</td></tr></table> ※複数項目に該当する場合は項目ごとに改行をする 受講対象者であるが本年度受講しない者 ○「手順 2」で「延期・対象外（2・3 年研，中堅研）」を選択し、「備考」欄に下表のように入力する。 <table><tr><th>区分</th><th>「備考」欄への入力</th></tr><tr><td>（1）対象者であるが、令和 4 年度の研修の受講を延期する場合</td><td>△印を付し、延期の理由（育児休業等）を入力する。（例）△育児休業 2 年</td></tr><tr><td>（2）研修の受講を延期していた者が、令和 4 年度も引き続き延期する場合</td><td>□印を付し、更に延期の理由を入力する。 （例）□令和 4 年度育児休業</td></tr><tr><td>（3）他府県や異校種での経験があるため、令和 4 年度に対象者から外れる場合</td><td>※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 （例）※対象者でない（他県で実施済み）</td></tr></table>	区分	「備考」欄への入力	（1）研修の受講を延期していた者が、令和 4 年度に研修を受講する場合	○印を付し、延期していた理由を入力する。 （例）○令和 3 年度まで育児休業	（2）他府県や異校種での経験があるため、令和 4 年度に対象者になる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 （例）※対象者（本県 3 年目で他県 3 年経験）	（3）任用替えの栄養教諭	◆印を付し、任用替えをした年度を入力する。	（4）【後期】弾力化希望者	主任等の役割があれば入力する。 （例）生徒指導主事	区分	「備考」欄への入力	（1）対象者であるが、令和 4 年度の研修の受講を延期する場合	△印を付し、延期の理由（育児休業等）を入力する。（例）△育児休業 2 年	（2）研修の受講を延期していた者が、令和 4 年度も引き続き延期する場合	□印を付し、更に延期の理由を入力する。 （例）□令和 4 年度育児休業	（3）他府県や異校種での経験があるため、令和 4 年度に対象者から外れる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 （例）※対象者でない（他県で実施済み）
区分	「備考」欄への入力																			
（1）研修の受講を延期していた者が、令和 4 年度に研修を受講する場合	○印を付し、延期していた理由を入力する。 （例）○令和 3 年度まで育児休業																			
（2）他府県や異校種での経験があるため、令和 4 年度に対象者になる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 （例）※対象者（本県 3 年目で他県 3 年経験）																			
（3）任用替えの栄養教諭	◆印を付し、任用替えをした年度を入力する。																			
（4）【後期】弾力化希望者	主任等の役割があれば入力する。 （例）生徒指導主事																			
区分	「備考」欄への入力																			
（1）対象者であるが、令和 4 年度の研修の受講を延期する場合	△印を付し、延期の理由（育児休業等）を入力する。（例）△育児休業 2 年																			
（2）研修の受講を延期していた者が、令和 4 年度も引き続き延期する場合	□印を付し、更に延期の理由を入力する。 （例）□令和 4 年度育児休業																			
（3）他府県や異校種での経験があるため、令和 4 年度に対象者から外れる場合	※印を付し、その事情を簡潔に入力する。 （例）※対象者でない（他県で実施済み）																			

研修 番号	研修・講座名	留意事項
27	通級指導担当教員初心者研修	○盲・聾学校の通級による指導担当教員の初心者のうち、参加を希望する教員
29	県立学校新任生徒指導主事研修	○高等学校，特別支援学校（高等部）の新任生徒指導主事全員 ○特別支援学校（中学部）の新任生徒指導主事のうち，参加を希望する教員 ○令和3年度途中で新たに生徒指導主事になった者で，本研修を受講していない者も対象とする。
31	県立学校新任進路指導主事研修	○高等学校，特別支援学校（高等部）の 新任進路指導主事全員（令和4年度より新任のみ対象とする） 。 ○新任とは，これまでに進路指導主事の経験の無い者を指す（経験の有無は前任校も含める）。 ○令和3年度途中で新たに進路指導主事になった者で，本研修を受講していない者も対象とする。
33	県立学校新任教務主任研修	○高等学校，特別支援学校（全ての部）の新任教務主任全員 ○令和3年度途中で新たに教務主任になった者で，本研修を受講していない者も対象とする。
35	特別支援学校部主事研修	○部主事全員
39	県立学校新任教頭研修	○新任教頭全員 ○令和3年度途中で昇任した者で，本研修を受講していない者も対象とする。
40	県立学校新任校長研修	○新任校長全員 ○令和3年度途中で昇任した者で，本研修を受講していない者も対象とする。
43	幼稚園教育課程講座 自由応募	○幼稚部教員が対象 ○以下の2分科会のうち，希望する分科会をサポートシステム申し込み画面の「備考」欄に「共通」もしくは「2」と入力する。 【共通協議主題（共通）】 「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論等を踏まえ， 幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について 【協議主題2（2）】 指導計画の作成，保育の展開，指導の過程の評価・改善について
46	外国人児童生徒教育講座 指定・自由応募	○外国人児童生徒教育担当教員及び担当する可能性のある教員で，過去に本講座を受講していない者。 ＜サポートシステム申し込み画面について＞ ○研修名を選択する際，「地区指定」「自由応募」を必ず区別する。 ○「備考」欄に「外国人児童生徒教育担当」の経験年数を「〇年」と入力する。 経験年数は前任校も含めて入力し，初めての担当の場合は「初」と入力する。
48	教育研究リーダー養成研修 指定	○本案内 p.82に示す「応募条件」を満たす者について入力する。 ○別に（様式6）「教育研究リーダー養成研修（県立学校）参加者推薦書」を，4月14日（木）までにセンターへメール送信する。
63	特別支援学校におけるセンター的機能強化講座 指定	○参加者がある学校のみ入力する。 ○サポートシステム申し込み画面の「備考」欄に，所属部を入力する。

◆第2期申し込み◆（自由応募制研修・講座） 令和4年6月14日（火）締め切り

○申し込みは「教員サポートシステム」

○研修内容、期日等は p. 33～p. 65 参照

研修番号	研修・講座名	サポートシステム備考欄への記載
56	学校農園活用講座	
57	安全教育実技講座（大型特殊自動車）	
58	農業技術講座 A・B	
59	特別支援教育講座 A～E	○
60	学級・学年づくりに生かす教育相談講座	○
61	いじめ・不登校など今日的課題に対応する教育相談講座	○
62	教育相談コーディネーター養成講座	○
64	あいちクラスルーム・エバンジェリスト養成研修	○

【申し込み及びサポートシステム入力上の留意事項等】

研修番号	研修・講座名	留意事項
59	特別支援教育講座 A～E	○サポートシステム申し込み画面の「備考」欄に、以下の2点を入力する。 (1) 受講者の担当学級等を以下の中から選び入力する。 「通常の学級」、「通級」、特別支援学級の場合は「自閉症・情緒障害」「知的障害」「肢体不自由」「病弱・身体虚弱」「弱視」「難聴」「言語障害」 (2) 所属部を入力する。
60	学級・学年づくりに生かす教育相談講座	○サポートシステム申し込み画面の「備考」欄に、所属部を入力する。
61	いじめ・不登校など今日的課題に対応する教育相談講座	
62	教育相談コーディネーター養成講座	
64	あいちクラスルーム・エバンジェリスト養成研修	

◆eラーニング単独講座申し込み◆ 令和5年2月3日（金）まで随時受付

○申し込みは「教員サポートシステム」

研修番号	研修・講座名
66～97	p. 46～p. 65 参照

IV 研修・講座一覧

1 キャリア・アップ研修

「学び続ける教員」を育成するため、研修体系の幹となるものとして位置付けられるものが「キャリア・アップ研修」です。教職経験に応じて教員としての基本的な資質・能力の向上を図る＜教員の基礎づくりのための研修＞と、キャリアに応じた職責遂行に必要な能力や専門性を高める＜職務に関する研修＞があります。

各研修の日数及び期日等は、以下の(1)～(7)のとおりです。

○eL印は、講座の一部を「eラーニング研修」により実施することを示します。

(1) 初任者研修

新任の教員に対して、現職研修の一環として、1年間の研修を実施し、必要とされる素養、指導力、マネジメント力といった資質・能力を養うとともに幅広い知見を得ることを目的とします。

研修番号	研 修 名	予定人数	日数	期 日
1	小学校初任者研修 (※1) (※2)	500	9	○A班：4/13（開講行事），5/18，6/15，9/28，10/26，2/8 ○B班：4/13（開講行事），5/25，6/22，10/5，11/2，2/15 ○A班：7/27～29，B班：8/17～19（宿泊研修） eL
2	中学校初任者研修 (※2)	240	9	○4/13（開講行事），5/11，6/29，10/19，11/9，2/1 ○8/23～25（宿泊研修） eL
3	高等学校初任者研修 (※2)	200	12	○4/12（開講行事），4/19，6/7，7/5，9/20，10/4，＜10/18，10/25＞，＜11/8，11/15，11/22，11/29＞，1/31 ○8/1～3（宿泊研修） ＜＞内は、指定の1日に受講 eL
4	特別支援学校初任者研修 (※2)	80	12	○4/12（開講行事），4/19，5/24，6/7，7/5，7/12，＜10/11，10/18＞，11/8，2/7 ○8/1～3（宿泊研修） ＜＞内は、指定の1日に受講 eL

※1 小学校初任者研修の班編成〔A班＝尾張・海部教育事務所管内の学校 B班＝知多・西三河教育事務所管内の学校（中核市を除く）〕

※2 第1回及び最終回は、eラーニング等で行います。

詳細については、「初任者研修の手引」を御覧ください。

(2) 新規採用者研修

新規採用の教員に対して、現職研修の一環として、1年間の研修を実施し、必要とされる素養、指導力、マネジメント力といった資質・能力を養うとともに幅広い知見を得ることを目的とします。

研修番号	研 修 名	予定人数	日数	期 日
5	新規採用養護教諭研修 ※	50	10	○＜小中義：4/13，県立：4/12＞（開講行事），6/3，7/8，10/7，11/4，12/7，2/3 ○小中義：8/23～25，県立：8/1～3（宿泊研修） eL
6	新規採用栄養教諭研修 ※	10	10	○＜小中義：4/13，県立：4/12＞（開講行事），6/10，7/8，9/14，9/30，11/11，2/3 ○小中義：8/23～25，県立：8/1～3（宿泊研修） eL
7	県立学校新規採用実習教員・ 寄宿舎指導員研修 ※	25	2	○4/12（開講行事），4/22 eL
8	幼稚園等新規採用教員研修※	60	9	○4/28（開講行事），7/21，7/26，8/1，10/27，2/9 ○8/23～25（宿泊研修） eL

※ 開講行事は、eラーニングで行います。

(3) 2年目教員研修

初任者研修を受講修了した教職経験2年目の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の全教員、新規採用養護教諭研修、新規採用栄養教諭研修を受講修了した教職経験2年目の高等学校、特別支援学校の養護教諭、特別支援学校の栄養教諭を対象に、経験に即した体系的な研修の一環として、教育上の課題に対応し得る内容について研修を行い、資質・能力の向上を図ることを目的とします（小中・義務教育学校の養護教諭、栄養教諭は対象外）。

研修番号	研 修 名	予定人数	日数	期 日
9	小学校2年目教員研修	465	1	<9/9, 9/13, 9/16> 指定の一日に受講
10	中学校2年目教員研修	290	1	<9/9, 9/13, 9/16> 指定の一日に受講
11	高等学校2年目教員研修	210	2	8/5, 11/18
12	特別支援学校2年目教員研修	75	2	8/5, 8/24

(4) 小中学校3年目教員研修

初任者研修を受講修了した教職経験3年目の小学校、中学校、義務教育学校の全教員を対象に、経験に即した体系的な研修の一環として、採用後の2年間を振り返り、愛知の公教育を担う者としての立場や役割及び使命を再認識させるための研修を行います。とりわけ、不祥事防止の決意を確かなものとし、服務規律のいっそうの確保を図ることを目的とします（養護教諭、栄養教諭は対象外）。

研修番号	研 修 名	予定人数	日数	期 日
13	小学校3年目教員研修	465	1	<9/21, 9/27> 指定の一日に受講 eL
14	中学校3年目教員研修	205	1	<9/21, 9/27> 指定の一日に受講 eL

(5) 県立学校3年目教員研修

愛知県における教職経験が3年目の県立学校全教員を対象に、経験に即した体系的な研修の一環として、採用後の2年間を振り返り、愛知の公教育を担う者としての立場や役割及び使命を再認識させるための研修を行います。とりわけ、不祥事防止の決意を確かなものとし、服務規律のいっそうの確保を図ることを目的とします。

研修番号	研 修 名	予定人数	日数	期 日
15	高等学校3年目教員研修	230	1	10/17
16	特別支援学校3年目教員研修	130	1	10/24

(6) 中堅教諭等資質向上研修

【前期】は小・中・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の教職経験5年経過の全教員、【後期】は、小・中・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の教職経験10年経過の全教員及び教職経験9年経過の希望者、幼稚園・幼保連携型認定こども園の教職経験8年または9年経過の教員を対象に、ミドルリーダーとしての自覚の涵養、専門性の向上、得意分野の伸長等、中堅教諭等として職務を遂行する上で必要とされる資質の向上を図るために実施します。

幼稚園等中堅教諭資質向上研修の対象者

幼稚園・幼稚園型認定こども園・幼保連携型認定こども園に勤務する教諭・保育教諭のうち、教職経験が8年または9年を経過し、以下の項目に該当する者を指します。

(1) 原則、平成26年または平成25年4月1日付け採用者。

(2) (1)以前の採用者のうち、これまで「10年経験者研修、中堅教諭資質向上研修〔注〕」を受講していない者。

〔注〕「幼稚園10年経験者研修、中堅教諭資質向上研修」「小・中学校10年経験者研修、小・中・義務教育学校中堅教諭資質向上研修」「養護教諭10年経験者研修、中堅養護教諭資質向上研修」等を含む。その他、他府県の実施するこれに該当する研修。

(3) (1)以降の採用者のうち、教職経験が8年を経過した者（他府県や異校種での経験がある者。ただし、講師経験は除く）。

◎在職期間の計算方法について

本案内p.83の「【参考資料2】幼稚園等中堅教諭資質向上研修にかかる在職期間の例」を参照してください。

中堅教諭等資質向上研修【前期】の対象者

小・中・義務教育学校・高等学校・特別支援学校に勤務する教諭、養護教諭または栄養教諭のうち、在職期間が5年を経過し、以下の項目に該当する者を指します。

(1) 原則、平成29年4月1日付け採用者。

(2) (1)以前の採用者のうち、これまで「5年経験者研修【※注】」を受講していない者。

【注】「小・中学校5年経験者研修」「高等学校5年経験者研修」「特別支援学校5年経験者研修」「養護教諭5年経験者研修」「栄養教諭5年経験者研修」、他府県の実施するこれに該当する研修

(3) (1)以降の採用者のうち、在職期間が5年を経過した者。

(他府県や異校種での経験がある者。ただし、講師経験は除く)

(4) 中堅栄養教諭資質向上研修【前期】については、平成29年4月1日までに学校栄養職員から栄養教諭に任用替えをした者を含む。

◎在職期間の計算方法について

本案内 p.84 の「【参考資料3】中堅教諭等資質向上研修【前期】にかかる在職期間の例」を参照してください。

中堅教諭等資質向上研修【後期】の対象者

小・中・義務教育学校・高等学校・特別支援学校に勤務する教諭、養護教諭または栄養教諭のうち、在職期間が10年を経過し、以下の項目に該当する者を指す。

(1) 原則、平成24年4月1日付け採用者。

(2) (1)より以前の採用者のうち、これまで「10年経験者研修【※注】」を受講していない者。

【注】「幼稚園10年経験者研修」「小・中学校10年経験者研修」「高等学校10年経験者研修」「特別支援学校10年経験者研修」「養護教諭10年経験者研修」「栄養教諭10年経験者研修」、それぞれ「教職経験11年目研修」を含む、他府県の実施するこれに該当する研修

(3) (1)より以降の採用者のうち、在職期間が10年を経過した者

(他府県や異校種での経験がある者。ただし、講師経験は除く)

(4) 中堅栄養教諭資質向上研修【後期】については、平成24年4月1日までに学校栄養職員から栄養教諭に任用替えをした者を含む。

◎在職期間の計算方法について

本案内 p.85 の「【参考資料4】中堅教諭等資質向上研修【後期】にかかる在職期間の例」を参照してください。

＜中堅教諭等資質向上研修【後期】の弾力化について＞

中堅教諭等資質向上研修【後期】の研修内容を2つに分割し、定員の範囲内で、学校の事情や本人の希望を踏まえ、1年前倒しにより在職期間が9年を経過した教員が受講することも可能とするものである。Mのみ前倒しで受講、Sのみ前倒しで受講、MS両方を前倒しで受講、のいずれかを選択して受講することができます。ただし、MS両方を前倒して希望しても、定員の関係でどちらか一方しか受講できない場合もあります。

M：マネジメント等の研修 ①全体研修（夏・冬）【計2日】（養護教諭・栄養教諭は夏のみ1日） ②マネジメント力向上のためのOJT（校内研修） ③異校種等研修 ④eラーニング（指定のもの）	S：教科指導（専門領域）等の研修 ①教科指導研修（専門研修）【計2日】（養護教諭・栄養教諭は3日） ②教科等指導力向上のためのOJT（校内研修） ③特定課題研究 ④eラーニング（指定のもの）
---	--

○MとSを分割して受講する場合も、「中堅教諭等資質向上研修を受講するに当たって」のeラーニングは、分割受講の初年度に受講する。

【校（園）内研修（後期については、受講の弾力化MS含む）】

研修番号	研 修 名		内 容	
17	幼稚園等中堅教諭資質向上研修		7日～10日間の園内研修、特定課題研究	eL
18	小学校中堅教諭資質向上研修	前期	教科等指導力向上のためのOJT	eL
19	中学校中堅教諭資質向上研修	後期	教科等指導力向上のためのOJT、マネジメント力向上のためのOJT、特定課題研究	eL
20	高等学校中堅教諭資質向上研修			
21	特別支援学校中堅教諭資質向上研修			
22	中堅養護教諭資質向上研修	前期	指導力向上のためのOJT	eL
23	中堅栄養教諭資質向上研修	後期	マネジメント力向上のためのOJT、特定課題研究	eL

【校（園）外研修（後期については、受講の弾力化MS含む）】

研修 番号	研 修 名		予定 人数	日数	期 日
1 7	幼稚園等中堅教諭資質向上研修		6 0	4	園外研修 3 日 7/22, 7/28, 8/19 異校種等研修 1 日 eL
1 8	小学校中堅教諭資質向上研修	前期	4 5 0	3	全体研修 1 日 8/19 教科指導研修 2 日 eL
		後期	4 0 0	5	全体研修 2 日 8/2, 12/26 教科指導研修 2 日 異校種等研修 1 日 eL
1 9	中学校中堅教諭資質向上研修	前期	2 6 0	3	全体研修 1 日 8/22 教科指導研修 2 日 eL
		後期	3 5 0	5	全体研修 2 日 8/3, 12/27 教科指導研修 2 日 異校種等研修 1 日 eL
2 0	高等学校中堅教諭資質向上研修	前期	3 0 0	3	全体研修 1 日 7/22 教科指導研修 2 日 eL
		後期	3 1 0	5	全体研修 2 日 7/25, 12/28 教科指導研修 2 日 異校種等研修 1 日 eL
2 1	特別支援学校中堅教諭資質向上研修	前期	1 2 5	3	全体研修 1 日 7/27 専門研修 2 日 7/28, 12/7 eL
		後期	1 2 0	5	全体研修 2 日 7/25, 12/28 専門研修 2 日 8/1, 8/18 異校種等研修 1 日 eL
2 2	中堅養護教諭資質向上研修	前期	5 0	3	全体研修 1 日※, 専門研修 2 日 7/25, 8/4 eL
		後期	5 5	5	全体研修 1 日※, 専門研修 3 日 7/28, 8/17, 8/26 異校種等研修 1 日 eL
2 3	中堅栄養教諭資質向上研修	前期	2 0	3	全体研修 1 日※, 専門研修 2 日 7/21, 8/5 eL
		後期	1 0	5	全体研修 1 日※, 専門研修 3 日 7/29, 8/22, 8/30 異校種等研修 1 日 eL

※ 中堅養護教諭資質向上研修、中堅栄養教諭資質向上研修の全体研修の期日は、各校種の期日と同じ。ただし、【後期】については夏のみとし、冬は参加しない。

中堅教諭等資質向上研修【後期】＜受講の弾力化Mについて＞

研修 番号	研 修 名	予 定 人 数	日 数	期 日
18	小学校中堅教諭資質向上研修	20	3	全体研修2日 8/2, 12/26 異校種等研修1日 eL
19	中学校中堅教諭資質向上研修	15	3	全体研修2日 8/3, 12/27 異校種等研修1日 eL
20	高等学校中堅教諭資質向上研修	20	3	全体研修2日 7/25, 12/28 異校種等研修1日 eL
21	特別支援学校中堅教諭資質向上研修	15	3	全体研修2日 7/25, 12/28 異校種等研修1日 eL
22	中堅養護教諭資質向上研修	5	2	全体研修1日※ 異校種等研修1日 eL
23	中堅栄養教諭資質向上研修	5	2	全体研修1日※ 異校種等研修1日 eL

※ 中堅養護教諭資質向上研修、中堅栄養教諭資質向上研修の全体研修の期日は、各校種の期日と同じ。ただし、【後期】については夏のみとし、冬は参加しない。

○校内研修：「マネジメント力向上のためのOJT」

中堅教諭等資質向上研修【後期】＜受講の弾力化Sについて＞

研修番号	研 修 名	予定人数	日数	期 日
18	小学校中堅教諭資質向上研修	15	2	教科指導研修2日 
19	中学校中堅教諭資質向上研修	5	2	教科指導研修2日 
20	高等学校中堅教諭資質向上研修	15	2	教科指導研修2日 
21	特別支援学校中堅教諭資質向上研修	5	2	専門研修2日 8/1, 8/18 
22	中堅養護教諭資質向上研修	5	3	専門研修3日 7/28, 8/17, 8/26 
23	中堅栄養教諭資質向上研修	5	3	専門研修3日 7/29, 8/22, 8/30 

○校内研修：「教科等指導力向上のためのOJT」（養護教諭・栄養教諭はOJTを実施しない）
「特定課題研究」

詳細については、「中堅教諭等資質向上研修の手引」を御覧ください。

(7) 職務に関する研修

職務に関する研修とは、学校及び園において、さまざまな職務を担当する教員等を対象とする研修です。学校経営に関する資質・能力や、職務に応じた職責遂行のために必要な知識・技能等の向上を図ることを目的とします。

研修番号	研修名及びねらい	対 象 者	予定人数	日数	期日等
24	小中学校初任者研修拠点校指導教員研修 ＊初任者研修についての共通理解を図るとともに、校内研修上の諸問題及び初任者への指導の在り方についての研修を行い、資質の向上を図ります。	小・中・義務教育学校の拠点校指導教員 ○各研修日の対象者は、「期日等」欄を参照する。 ○東三河教育事務所管内の対象者を除く。	250	4	4/6（全員） 6/8（1年目と希望者） 9/14（1年目と希望者） 12/14（1年目と希望者） 第1日 東三河教育事務所と合同開催 第2日以降 総合教育センターと東三河教育事務所で分離開催
25	特別支援学校初任者研修拠点校指導教員研修 ＊初任者研修における拠点校方式への共通理解を図るとともに、初任者に対する指導上の諸問題及び指導法についての研修を行い、資質の向上を図ります。	特別支援学校の拠点校指導教員	20	6	4/4, 4/12, 6/14, 11/15, 1/10, 2/14
26	特別支援学級担当教員初心者研修 ＊特別支援学級の運営や指導上の諸問題及び指導法についての研修を行い、資質・能力の向上を図ります。	小・中・義務教育学校の特別支援学級を初めて担当する教員全員 ○過去に特別支援学校で勤務した者及び特別支援学級を担当した者を除く。	400	1	<5/31, 6/3, 7/6, 7/8> 指定の一日に受講  ○集合研修は東三河教育事務所管内の対象者を除く。ただし、eラーニング研修は東三河教育事務所管内の対象者も受講する。

研修 番号	研修名及びねらい	対 象 者	予定人数	日数	期日等
27	通級指導担当教員初心者研修 *通級指導教室の運営や指導上の諸問題及び指導法についての研修を行い、資質・能力の向上を図ります。	・小・中・義務教育学校の通級による指導を初めて担当する教員全員 ・盲・聾学校の通級による指導担当教員の初心者のうち、参加を希望する教員	100	1	6/24
28	高等学校実習教員研修（A：理科コース） *講義・実習を通して、実習教員として必要な知識・技術を習得し、資質・能力の向上を図ります。	高等学校の実習教員 【理科】 ○過去3年以内に受講した者は原則対象としない。	16	1	8/17
	高等学校実習教員研修（B：農業・水産コース） *刈払機の操作や施工用機械の運転を通して安全教育を実施し、基本的な機械操作や取扱い技術の習得をする中で、生徒実習指導時及び農場管理時の安全意識の高揚を図ります。また、実習教員としての使命と職業について理解を深めます。	高等学校の実習教員 【農業・水産】 ○地区ごとに人数を指定する。	13	1	8/8
	高等学校実習教員研修（C：工業コース） *講義・実習を通して、実習教員として必要な知識・技術を習得し、資質・能力の向上を図ります。	高等学校の実習教員 【工業】 ○地区ごとに人数を指定する。 ○実習教員としての経験年数がおおむね5年から15年までの者を対象とし、過去に本研修を受講していない者を優先する（地区に過去に受講済の教員しかいない場合はこの限りでない）。	13	1	8/17
29	県立学校新任生徒指導主事研修 *当面する生徒指導上の諸問題について、講義、演習、情報交換等を通じて、共通理解を深め、生徒指導を担当する教員の資質・能力の向上を図ります。	・高等学校、特別支援学校（高等部）の新任生徒指導主事全員 ・特別支援学校（中学部）の新任生徒指導主事のうち、参加を希望する教員	50	2	6/3, 6/24 ○2日とも午後日程、オンラインで実施 <会場> 各所属校
30	中学校新任進路指導主事研修 *総合教育センターにおいて、進路指導に関する諸問題についての講義・研究協議を行い、資質・能力の向上を図ります。また、eラーニングで中央研修の受講報告を視聴し、キャリア教育に関する基本方針等について共通理解を深めます。	中学校、義務教育学校の新任進路指導主事	100	1	8/5
31	県立学校新任進路指導主事研修 *総合教育センターにおいて、進路指導に関する諸問題についての講義・研究協議を行い、資質・能力の向上を図ります。また、eラーニングで中央研修の受講報告を視聴し、キャリア教育に関する基本方針等について共通理解を深めます。	高等学校、特別支援学校（高等部）の新任進路指導主事	55	2	5/25, 6/1 ○2日とも午後日程、初日はオンラインで実施

研修 番号	研修名及びねらい	対 象 者	予定人数	日数	期日等
3 2	小中学校新任教務主任研修 ＊学校教育が抱える今日的課題についての講義や研究協議, 教育法規演習などを通して, 教務主任としての資質・能力の向上を図ります。	小・中・義務教育学校の新任教務主任全員	2 4 0	2	6/21, 10/14  ○集合研修は東三河教育事務所管内の対象者を除く。ただし, eラーニング研修は東三河教育事務所管内の対象者も受講する。
3 3	県立学校新任教務主任研修 ＊学校教育が抱える今日的課題についての講義や研究協議, 教育法規演習などを通して, 教務主任としての資質・能力の向上を図ります。	県立学校の新任教務主任全員（特別支援学校については, 高等部に限らない）	7 0	2	6/10, 10/11 
3 4	産業教育学科主任研修 ＊産業教育の抱える今日的な課題についての講義や協議を通して, 産業教育学科主任としての資質・能力の向上を図ります。	高等学校産業教育関係学科の学科主任 【工業・商業】 大学科1人 【農業・水産・家庭・看護・福祉】 全員	1 0 0	1	6/14
3 5	特別支援学校部主事研修 ＊学校運営に関する諸課題について広く研修し部主事としての資質・能力の向上を図ります。	特別支援学校の部主事全員	1 0 0	1	1/5
3 6	園長等運営管理研修 ＊幼稚園教育要領等に基づいた教育内容, 当面する幼児教育の諸問題, 園長等に対する園運営・管理の専門的な事項について研修し, 管理職や指導者としての資質・能力の向上を図ります。	公私立幼稚園の園長, 公私立保育所の所長, 公私立認定こども園の園長, 市町村の保育行政担当者（名古屋市を含む）	5 5	1	8/3
3 7	小中学校新任教頭研修 ＊当面する学校教育の諸問題及び服務, 地域との連携, 人権教育, 教育法規等について研修し, 教頭としての視野を広め, 経営能力及び指導力の向上を図ります。	小・中・義務教育学校の新任教頭全員	1 6 0	1	10/28  ○集合研修は東三河教育事務所管内の対象者を除く。ただし, eラーニング研修は東三河教育事務所管内の対象者も受講する。
3 8	小中学校新任校長研修 ＊当面する学校教育の諸問題及び服務, 地域との連携, 人権教育, 組織マネジメント等について研修し, 校長としての視野を広め, 経営能力及び指導力の向上を図ります。	小・中・義務教育学校の新任校長全員	1 2 0	1	11/11  ○集合研修は東三河教育事務所管内の対象者を除く。ただし, eラーニング研修は東三河教育事務所管内の対象者も受講する。
3 9	県立学校新任教頭研修 ＊教頭の職務・役割について理解を深めるとともに, 管理職としての経営能力や指導力の向上を図ります。	県立学校の新任教頭全員	7 0	1	5/17 

研修 番号	研修名及びねらい	対 象 者	予定人数	日数	期日等
4 0	県立学校新任校長研修 ＊時代の変化に対応した新しい学校づくりの手法を身に付けるとともに、学校経営者として総合的な組織マネジメント能力の向上を図ります。	県立学校の新任校長全員	5 0	1	5/31 
4 1	公立学校の臨時教員等研修 ＊サービスや人権教育，教育公務員としての在り方について研修し，資質の向上を図ります。	県立学校の臨時教員等	3 4 0	1	4/8 または 4/11
4 2	指導改善研修 ＊「指導が不適切な教員」として認定された者に対して，学校への復帰を第一の目的とした適切な研修を実施し，意識の改善や力量の向上を図ります。	小・中・義・高・特		1 年	<会場> センター及び所属校等

2 リーダー研修

リーダー研修とは、教育の諸課題に対する理解や実践力を高め、学校や地域の教育をリードするリーダー教員養成のための研修です。研修後は、個人の資質・能力の向上だけでなく、自校や地域に研修成果を還元し、専門的な知見を広めることを目的とします。**48～54 の研修に応募するためには、校長の推薦が必要となります。**なお、内容等の詳細については、原則として対象者の所属校に別途通知します。

各研修の日数及び期日等は、以下のとおりです。

※**eL**印は、講座の一部を「eラーニング研修」により実施することを示します。

研修番号	研修名及びねらい	対 象 者	予定人数	日数	期日等
43	幼稚園教育課程講座 * 幼児教育に関する専門的な講義や協議を行い、幼児教育の振興及び充実に図ります。	【公私立幼・保・認定こども園】 教員、保育士、保育教諭 【特別支援学校幼稚部】 教員（自由応募）	300	2	5/27, 8/29 名古屋市を除く
44	保育技術講座 * 講義や研究協議等によって、子どもの発達課題や特性に応じた保育を進めるために必要な専門技術を身に付け、指導力の向上を図ります。	【国公立幼稚園】主任（主査）及び中堅教員 【公私立保育所】主任及び中堅保育士 【公私立認定こども園】主任及び中堅教員、保育士、保育教諭 【特別支援学校幼稚部】中堅教員（自由応募）	55	2	8/4, 8/5 名古屋市を含む
45	道徳推進講座 * 道徳科についての講義や研究協議を通して、道徳教育、心の教育のいっそうの充実に図ります。	【公立幼稚園】主任及び教諭 【私立幼稚園・公私立認定こども園】主任及び教員、保育教諭（自由応募） 【小・中・義】道徳教育推進教師	70	1	8/2
46	外国人児童生徒教育講座 * 講義、演習、研究協議などを通して、外国人児童生徒教育に必要な知識や技能を習得し、資質・能力の向上を図ります。	【小・中・義・高・特】外国人児童生徒教育担当教員及び担当する可能性のある教員で、過去に本講座を受講していない者 ※地区ごとに人数を指定する（自由応募あり）	56	2	6/14, <10/12, 10/19> < >内は、指定の1日に受講 eL
47	教科情報における文部科学省教材活用講座 * 学習指導要領における共通必修科目「情報Ⅰ」の「コミュニケーションと情報デザイン」「コンピュータとプログラミング」「情報通信ネットワークとデータの活用」の単元における授業実践や教材開発について知識や技能を身に付けます。	【高】高等学校の情報科教員 ※地区ごとに人数を指定する	40	1	9/30 <会場> 愛知教育大学
48	教育研究リーダー養成研修 * 理論的・実践的な教育研究を通して、課題解決能力と同僚性の構築力を身に付けたミドルリーダーの育成を目指す研修を行います。 ※研修の概要、応募条件についてはp.82を参考にしてください。	【小・中・義】校長、市町村教育委員会教育長及び教育事務所長の推薦を受けた者	20	10	5/20, 7/22, 8/1, 8/22, 2/10 上記5日の他に個別研修3日、訪問研修2日があります。
		【高・特】校長の推薦を受けた者	13		

【リーダー研修】

研修 番号	研修名及びねらい	対 象 者	予定 人数	日数	期日等
49	県立学校運営講座 ＊学校経営の視点から、教育法規や財務事務、主任の立場から見た学校の課題とその対応等について研修を行い、主任として求められる資質の向上と幅広い視野に立った教育観の確立を図ります。	【高・特】 校長の推薦を受けた者	80	2	10/6, 10/21
50	教育相談特別研修 ＊総合教育センター及び愛知教育大学において、教育相談に関する研究を通して研修を行います。	【高】 教職経験がおおむね10年から20年の者で、校長が認めた者	3	1年	令和4年4月から 令和5年3月まで
51	小中学校社会体験型教員研修 ＊豊かな見識と広い視野に立った教育力を培わせ、新たな教育を推進するリーダーの養成を図ります。教員に学校以外の諸施設で、多様な体験を積み重ね、企業等の人材育成、人事管理等を学び、学校運営に生かします。社会の構成員としての視野を広げ、「持続可能な社会の創り手」を育成する学校づくりに役立てます。 ◆令和4年度の研修先は、博物館明治村、株式会社アイシン、独立行政法人国際協力機構JICA中部です。	【小・中・義】 校長の推薦を受けた者	3	1年	令和4年4月から 令和5年3月まで 具体的な研修内容は、派遣先と協議します。
52	大学院及び教職大学院派遣研修 ＊現職のまま、愛知教育大学または新教育大学（兵庫、上越、鳴門）において、長期間にわたって研修・研究を行います。	【小・中・義・特】 校長の推薦を受けた者		2年	愛知教育大学においては、教職大学院のみの研修
53	愛知教育大学特別支援教育特別専攻科内地留学研修 ＊特別支援教育分野の専門的知識や技術を習得し、資質・能力の向上と指導力の充実を図ります。	【小・中・義・特】 校長の推薦を受けた者		1年	愛知教育大学における研修
54	国立特別支援教育総合研究所特別支援教育専門研修 ＊特別支援教育分野の専門的知識や技術を習得し、資質・能力の向上と指導力の充実を図ります。	【小・中・義・特】 校長の推薦を受けた者		2か月程度	国立特別支援教育総合研究所における研修

3 スキル・アップ研修

スキル・アップ研修とは、教員としての専門的な知識・技能を補完し、進展させる研修であり、受講希望者を対象とする自由応募制による研修です。一部、地区または学校ごとに人数を指定する講座（地区指定分）があります。

<日数及び期日等>

◆ **eL** 印は、講座の全部または一部を「eラーニング研修」により実施することを示します。

◆ 「農共実習所」は総合教育センター農業教育共同実習所の略です。

研修 番号	講座名	コース記号・コース名	対象者	予定 人数	日数	期日	備 考
55	看護科講座		高	40	1	8/18	高校中堅研【前期】と 合同開催
56	学校農園活用講座		幼・小・中・義・高・特	20	1	8/23	<会場> 安城農林高校
57	安全教育実技講座（大型特殊自動車）		高・特	10	2	8/24 8/25	<会場> 農共実習所
58	農業技術講座	A ドローンの活用技術	幼・小・中・義・高・特	20	1	8/9	<会場> 農共実習所
		B 農作業管理機械の基礎	高（農業関係高校）	25	1	8/9	<会場> 農共実習所
59	特別支援教育 講座	A 自立活動セミナー1	幼・小・中・義・高・特	40	1	7/29	
		B 自立活動セミナー2	幼・小・中・義・高・特	40	1	8/4	
		C 自立活動セミナー3	幼・小・中・義・高・特	40	1	7/27	
		D アセスメントセミナー	幼・小・中・義・高・特	40	1	8/19	
		E ICT活用セミナー	幼・小・中・義・高・特	30	1	7/26	
60	学級・学年づくりに生かす教育相談講座		小・中・義・高・特	40	2	8/9 10/7	地区指定（高校） eL
61	いじめ・不登校など今日的課題に対応する 教育相談講座		小・中・義・高・特	40	2	7/26 10/21	地区指定（高校） eL
62	教育相談コーディネーター養成講座		小・中・義・高・特	40	2	8/23 10/18	地区指定（高校） eL
63	特別支援学校におけるセンター的機能強化講座		特	30	2	8/25 1/18	学校指定（特支）
64	あいちクラスルーム・エバンジェリスト 養成研修		高・特	50	3	7/27 10/28 2/3	地区指定（高校） eL
65	ICT活用実践講座		小・中・義	80	1	<8/29 8/30>	指定日に受講

＜eラーニング講座＞

- ◆令和5年2月3日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます（p. 46～p. 65参照）。
 全ての教職員が受講できます（事務職員の方もお申し込みください）。

研修番号	講 座 名		対象者	学習期間
6 6	高等学校国語科講座～授業構想の工夫～		全 教 職 員	7/1～ 2/28
6 7	高等学校地理歴史・公民科講座～授業構想の工夫～			
6 8	高等学校数学科講座～授業構想の工夫 1 ～			
6 9	高等学校数学科講座～授業構想の工夫 2 ～			
7 0	高等学校理科講座～授業構想の工夫～			
7 1	高等学校英語科講座～授業構想の工夫～			
7 2	理科観察・実験指導基礎講座			
7 3	主権者教育推進講座			
7 4	道徳教育講座～考え議論する道徳～			
7 5	小学校英語の基礎講座			
7 6	国際英語の教育：理論と実践			
7 7	Integrating Language & Content in an English Class			
7 8	産業教育における評価の在り方			
7 9	G I G Aスクール構想の動向について			
8 0	オンライン教育の効果と課題について			
8 1	情報モラル教育講座			
8 2	教師のための情報危機管理講座			
8 3	カリキュラム・マネジメント講座			
8 4	効果を上げる授業研究の在り方			
8 5	校内研修と授業研究の効果的な進め方講座			
8 6	O J Tの推進について			
8 7	愛知の特別支援教育			
8 8	発達障害の理解と支援講座	A	発達障害の理解① ～基礎的な理解と具体的な支援～	
		B	発達障害の理解② ～発達障害と他の精神的問題とを見分けるために～	
		C	行動への支援① ～行動をどのようにとらえるか～	
		D	行動への支援② ～支援方法を考えるときに重要なこと～	
		E	感情マネジメント ～自分の感情と上手く付き合うための方法～	

研修 番号	講 座 名			対象者	学習期間
8 9	事例研究の意義と進め方			全 教 職 員	7/1～ 2/28
9 0	児童生徒の強みを生かす教育相談講座				
9 1	外国人児童生徒教育の現状と課題				
9 2	E S D（持続発展教育）推進講座				
9 3	S D G s 理解講座	A	S D G s 達成に向けた J I C A の取組		
		B	S D G s 達成に向けた学校での実践例		
9 4	学校安全推進講座	A	子どもの安全と安心を守る		
		B	学校における防災管理について		
9 5	地域学校協働活動推進講座	A	基礎編		
		B	リーダー編		
9 6	社会人としてのマナー				
9 7	職場のメンタルヘルス講座	A	職場のメンタルヘルス ～アルコール依存症を知ろう～		
		B	学校現場の職場ストレスとその対処法		

【スキル・アップ研修の詳細について】

スキル・アップ研修の各講座は、教科及び領域等の専門的な内容を深め、実践的な指導力の向上を図ることを目的として実施します。

原則として自由応募制ですが、研修番号60～64の講座は予定人数の一部を地区指定等で募集します。

※各講座の当日の受付時間は、講座開始30分前からですが、一部の講座では集合時刻が指定されています。

※追加連絡、課題等の詳細については6月下旬に総合教育センターウェブページに掲載される「スキル・アップ研修における追加連絡」を御覧ください。

講座・コース名	55 看護科講座		
ねらい	講義や協議を通して、学習指導要領を踏まえた指導と評価の在り方及び看護科教育に関する現状と課題について理解を深め、指導力の向上を図ります。		
対象者	【自由応募】私立高等学校を含む高等学校の看護科教員	予定人数	40人 ※中堅研【前期】 受講対象者を含む
期日・時間・会場	内 容 等		
8月18日（木） 9:30～16:30 総合教育センター 第1情報実習室	【講義：ウィズコロナで変わる看護教育】 ウィズコロナで新しい生活が求められています。新カリキュラムの開始に合わせて看護教育も変化を余儀なくされています。 コロナ禍で、実習制限などもあり、実習で学ぶべき内容をシミュレーションなどで代替することも行ってきました。これからは、そこにとどまらず更なるICTの活用DX（デジタル・トランスフォーメーション）が求められています。どのように看護教育に活用していくかを、基礎看護学の視点から考えていきます。 【協議：看護教育の現状と課題】 看護教育に関する最新の情報を共有し、看護科が抱える課題の解決に向けた方策を協議します。		
備 考	・課題なし		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	56 学校農園活用講座		
ねらい	学校で栽培する野菜や草花、飼育する小動物や造園・木材加工等について基礎的な知識・技術の習得を目指します。また、それらを教材として活用した効果的な指導方法について理解を深め、指導力の向上を図ります。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員	予定人数	20人
期日・時間・会場	内 容 等		
8月23日（火） 9:30～16:30 ・集合時刻 9:20 安城農林高等学校	【講義・実習：野菜の活用について】 学校農園で栽培可能な野菜の栽培・管理方法、土の作り方、病害虫の防除等について学び、それらを教材として活用した実習を行います。 【講義・実習：草花の活用について】 学校花壇に植栽する草花（主に花壇苗）の基礎的な栽培・管理方法について学び、それらを教材として活用した実習を行います。		
備 考	・課題なし ・材料費は自己負担です。 ・実習のできる服装、帽子、軍手を持参してください。 ・本講座は、「野菜」「草花」「小動物」「造園・木材加工」の部門について、ローテーションで実施します。		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	57 安全教育実技講座（大型特殊自動車）		
ねらい	大型特殊自動車の安全運転に関する知識・技能を高め、大型特殊自動車運転免許取得を目指し、安全教育の充実と教科指導力の向上を図ります。		
対象者	【自由応募】高等学校，特別支援学校の産業教育関係学科教員	予定人数	10人程度
期日・時間・会場	内 容 等		
8月24日（水） 9:30～16:30 ・集合時刻 9:20 農業教育共同実習所	【基本操作】 安全確認，乗車，始動，発進・停止時の基本手順・操作等の技能を習得します。 【基本運転】 車両感覚の理解，ハンドル操作，スピード調整，車線変更等の技能を習得します。		
8月25日（木） 9:30～16:30 ・集合時刻 9:20 農業教育共同実習所	【応用運転】 車庫入れ（方向転換），障害物回避，踏切の通過等の技能を習得します。 【総合運転】 道路交通法を遵守し，交通状況等を適切に判断する技能を習得します。		
備 考	・課題なし ・昼食及び実習のできる服装，靴，帽子を持参してください。 ・紫外線対策として，屋外での実習はサングラス等を着用しての受講を認めます。 ・本講座は，3年間のローテーション（〔大型特殊自動車（本年度）〕→〔小型車両系建設機械運転業務特別教育講習〕→〔フォークリフト運転業務特別教育講習〕）で実施します。		
問い合わせ先	農業教育共同実習所 電話 0566-76-4071		

講座・コース名	58-A 農業技術講座 ドローンの活用技術		
ねらい	スマート農業を始めとする先端技術や実践的な手法を通して新しい知識を習得し，農業に関する授業力の向上を図ります。		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教員	予定人数	20人程度
期日・時間・会場	内 容 等		
8月9日（火） 9:30～12:00 ・集合時刻 9:15 農業教育共同実習所	【講義：先端農業について】 先端農業教育を推進するため，最先端の研究や取組についての実践例を学ぶ。特に農業用ドローンの情勢やドローンの能力についての現状と課題について学びます。 【講義・実演：先端農業機械の取扱いについて】 ドローンの操作方法や薬剤散布の実演から，先端農業教育の教材としての活用方法を学びます。		
備 考	・課題なし ・紫外線や熱中症対策として，屋外での実習はサングラスや帽子等を持参してください。 ・実技講習は，屋外の圃場で実施です。汚れてもよい靴を持参してください。 ・民間業者による講義・実演を予定しています。		
問い合わせ先	農業教育共同実習所 電話 0566-76-4071		

講座・コース名	58-B 農業技術講座 農作業管理機械の基礎		
ねらい	農業科教員として基本となる刈払機や歩行用トラクタなど農作業管理機械の基礎と操作の知識・技術を習得し、実習指導に必要な安全意識を定着させ、授業力の向上を図ります。		
対象者	【自由応募】高等学校の農業科教員	予定人数	25人程度
期日・時間・会場	内 容 等		
8月9日（火） 13:30～16:10 ・集合時刻 13:15 農業教育共同実習所	【講義：農作業管理機械の概要について】 刈払機や歩行用トラクタの基本構造や事故事例など安全に使用方法についての知識を習得します。 【講義・実技講習：農作業管理機械の取扱いについて】 刈払機や歩行用トラクタの操作実習を通して、上記講義内容をより深め、実践力の向上を図ります。		
備 考	・課題なし ・実習のできる服装、靴、帽子、軍手を持参してください。 ・紫外線対策としてサングラスなど、熱中症対策としてタオルや水筒などを持参してください。 ・農業機械基礎講習ワークシート①及び②を持参してください。		
問い合わせ先	農業教育共同実習所 電話 0566-76-4071		

講座・コース名	59-A 特別支援教育講座 自立活動セミナー1		
ねらい	自立活動の指導に関する基礎的な知識・技能の習得を図ります（自閉症・情緒障害を主とする）。		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教員	予定人数	40人
期日・時間・会場	内 容 等		
7月29日（金） 9:30～16:30 総合教育センター 第10・11講義室	【講義・協議：自閉症・情緒障害のある幼児児童生徒の理解と支援 ～自立活動の指導と実際～】 自閉症・情緒障害を主とする障害の状態や特性等，実態に即した自立活動の指導の工夫を学び，自立活動の授業づくりについて協議します。 【講義・協議：自閉症・情緒障害のある幼児児童生徒に対する学習・生活の支援の在り方】 自閉症・情緒障害を主とする幼児児童生徒の実態に即した学習・生活の支援の在り方について協議します。		
備 考	・課題なし		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	59-B 特別支援教育講座 自立活動セミナー2		
ねらい	自立活動の指導に関する基礎的な知識・技能の習得を図ります（知的障害を主とする）。		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教員	予定人数	40人
期日・時間・会場	内 容 等		
8月4日（木） 9:30～16:30 総合教育センター 第10・11講義室	【講義・協議：知的障害のある幼児児童生徒の理解と支援 ～自立活動の指導の実際～】 知的障害を主とする障害の状態や特性等，実態に即した自立活動の指導の工夫を学び，自立活動の授業づくりについて協議します。 【講義・協議：知的障害のある幼児児童生徒に対する学習・生活の支援の在り方】 知的障害を主とする幼児児童生徒の実態に即した学習・生活の支援の在り方について協議します。		
備 考	・課題なし		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	59-C 特別支援教育講座 自立活動セミナー3		
ねらい	自立活動の指導に関する基礎的な知識・技能の習得を図ります（肢体不自由を主とする）。		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教員	予定人数	40人
期日・時間・会場	内 容 等		
7月27日（水） 9:30～16:30 総合教育センター 第10・11講義室	【講義・実習：肢体不自由のある幼児児童生徒のリハビリテーション ～医療と教育の連携を踏まえて～】 リハビリテーションにおける理論と技法について，また，学校と外部機関の連携を強化していく重要性について学びます。 【講義・協議：肢体不自由のある幼児児童生徒の理解と支援 ～自立活動の指導の実際～】 肢体不自由を主とする障害の状態や特性等，実態に即した自立活動の指導の工夫を学び，自立活動の授業づくりについて協議します。		
備 考	・課題なし		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	５９－Ｄ 特別支援教育講座 アセスメントセミナー		
ねらい	幼児児童生徒の理解と支援につなげるアセスメントの基礎的知識及び検査結果（WISC-IV）の解釈・活用の習得を図ります。		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教員	予定人数	４０人
期日・時間・会場	内 容 等		
８月１９日（金） 9:30～16:30 総合教育センター 多目的ホール 視聴覚室	【講義：困難さの理解と支援につなげるアセスメント】 アセスメントに関する基礎的な知識を学びます。 【講義・演習：事例による解釈・活用】 WISC-IVの検査結果の基礎的解釈を学びます。事例を基に学習上又は生活上の困難さの原因を理解し，その対応について考えます。		
備 考	・課題なし		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 ０５６１－３８－９５０６		

講座・コース名	５９－Ｅ 特別支援教育講座 ICT活用セミナー		
ねらい	特別支援教育におけるICT機器の効果的な活用に向けて，基礎的な知識や技能の習得を図ります。		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教員	予定人数	３０人
期日・時間・会場	内 容 等		
７月２６日（火） 9:30～16:30 総合教育センター 第１情報実習室 第２情報実習室	【講義：特別支援教育におけるICT機器の効果的な活用】 特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒の支援に必要なICT機器の効果的な活用等について学びます。 【演習：ICT機器の活用の基礎（タブレット端末の活用含む）】 ICT機器を活用した具体的な支援・指導の工夫等について学びます。		
備 考	・課題なし		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 ０５６１－３８－９５０６		

講座・コース名	60 学級・学年づくりに生かす教育相談講座 		
ねらい	教員として必要な教育相談に関する基礎的な知識や技能を習得し、児童生徒の理解や学級・学年づくりに生かすことができる力量を養います。		
対象者 地区指定	【指定】高等学校 【自由応募】小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員	予定人数	40人
期日・時間・会場	内 容 等		
8月9日（火） 9:30～16:30 総合教育センター 第13・14講義室他	【講義：子どもの問題をどうみるか】 心理専門家の視点における、児童生徒の理解と支援方法についての基礎的な知識・理論を学び、具体的な事例を通して理解を深めます。 【講義：人間関係づくりトレーニング】 人間関係づくりに必要な知識を学び、体験的に学習します。 【講義・演習：学級・学年づくりに生かす学校教育相談】 学校教育相談の視点から、「学級・学年づくり」の手法を学び、日頃の業務への活用方法を検討します。		
10月7日（金） 9:30～16:30 総合教育センター 第10講義室	【講義：ソーシャルワークの視点を学ぶ】 「福祉分野」の視点における、児童生徒の理解と支援方法についての基礎的な知識・理論を習得し、具体的な事例を通して理解を深めます。 【講義：通常の学級における特別支援教育】 「特別支援教育」の視点から、児童生徒の理解と支援方法についての知識・理論を学び、具体的な事例を通して理解を深めます。 【講義・演習：SSWの事例研修】 学校現場における事例検討の実践モデルを提案し、教育相談における資質・能力の向上を図ります。		
備 考	・課題なし ・本講座は、その一部を「eラーニング研修」によって実施します。 ※eラーニング研修の概要は、本案内p.67～p.72をご覧ください。		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	6 1 いじめ・不登校など今日的課題に対応する教育相談講座 		
ねらい	教育相談を中心となって担当する上で必要な理論・技法及び姿勢を学び、教育活動に生かすことができる力量を養います。		
対象者 地区指定	【指定】高等学校 【自由応募】小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教員	予定人数	40人
期日・時間・会場	内 容 等		
7月26日（火） 9:30～16:30 総合教育センター 大講義室	【講義：いじめ・不登校などの今日的課題を考える（性の多様性・LGBTも含む）】 今日的課題の原因及び経過の段階について理解し、支援の仕方を学びます。 【講義：外国にルーツをもつ子どもたちの受け入れを～「多文化共生」の学び、育ちへ～】 外国にルーツをもつ児童生徒の発達・成長を支援するために必要な知見や姿勢、具体的な対応について学びます。 【講義・協議：今日的課題に関する情報共有】 学校現場における課題を共有し、講義で得た知見等を基に解決策を探ります。		
10月21日（金） 9:30～16:30 総合教育センター 第13・14講義室	【講義：ネット・スマホ依存について】 依存症の本質や脳への影響を理解し、依存症を予防するための具体的な方法について学びます。 【講義：すぐに使える学校トラブルの法律知識と弁護士を含めた「チーム学校」】 学校現場と弁護士の関わりや連携の仕方、法的視点から見る保護者対応などに関する理解を深め、現在深刻化しつつある諸問題について考えます。 【講義・協議：今日的課題に対して学校ができること】 今日的課題について、教育相談の立場からその解明や対応・予防について学びます。		
備 考	・課題なし ・本講座は、その一部を「eラーニング研修」によって実施します。 ※eラーニング研修の概要は、本案内 p. 67～p. 72をご覧ください。		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	62 教育相談コーディネーター養成講座 		
ねらい	地域・学校における教育相談の推進に向けて、他職種の専門性を理解し、個別の事例に対応した校内・校外の連携をコーディネートする人材の育成を目指します。		
対象者 <u>地区指定</u>	【指定】高等学校 【自由応募】小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員	予定人数	40人
期日・時間・会場	内 容 等		
8月23日（火） 9:30～16:30 総合教育センター 第10講義室	【講義：学校教育相談で出会う問題と保護者、関係機関との連携】 愛着や虐待、自傷行為などの学校教育相談で出会う問題について理解を深め、予防的なアプローチや適切な支援に向けた連携の在り方を考えます。 【講義：校内連携と外部連携におけるコーディネーターの在り方について】 事例の「見立て（情報の分析と予測）」と「対応」のポイントを理解し、校内連携・外部連携におけるコーディネーターの役割と在り方について考えます。 【実習：校内連携を意識したグループワーク】 グループワークを通して、学校での教育相談における校内連携の現状や課題を共有し、さらなる推進の手だてや課題解決の方法について検討します。		
10月18日（火） 9:30～16:30 総合教育センター 第10・11講義室	【講義：精神医学から見た児童生徒の現状とその対応】 精神医学の観点から、児童生徒の情緒障害（うつ病等）や発達障害について理解を深めることで、学校と医療との連携について考える機会とします。 【協議：スクールソーシャルワークの視点を取り入れた事例検討の進め方】 スクールソーシャルワークの視点を取り入れた問題解決を重視した事例検討モデルを体験し、校内・外部連携におけるコーディネートについて考えます。		
備 考	・課題なし ・本講座は、その一部を「eラーニング研修」によって実施します。 ※eラーニング研修の概要は、本案内p.67～p.72をご覧ください。		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	63 特別支援学校におけるセンター的機能強化講座		
ねらい	発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する指導内容・方法に関する助言等を行うための資質及び技能を養い、特別支援学校のセンター的機能に関する力量向上を図ります。		
対象者	【指定】特別支援学校の教員	予定人数	30人程度
期日・時間・会場	内 容 等		
8月25日（木） 9:30～16:30 総合教育センター 第1情報実習室	【講義：特別支援教育に関する相談・支援機能～教育相談の充実に向けて～】 地域支援に必要な教育相談の基礎的な知識を学びます。 【講義：発達障害の理解と対応①～児童期を中心に～】 児童期における発達障害についての理解と対応，学校のニーズについて学びます。 【協議：センター的機能の実際①】 巡回相談等，各学校の地域支援の現状と課題を共有し，さらなる推進の手だてや課題解決の方法について協議します。		
1月18日（水） 9:30～16:30 総合教育センター 第1情報実習室	【講義：特別支援教育に関する相談・支援機能～教育相談の課題と実践～】 教育相談に必要な心理面の捉え方等，より実践的な知識を学びます。 【講義：発達障害の理解と対応②～青年期を中心に～】 青年期における発達障害についての理解と対応，学校のニーズについて学びます。 【協議：センター的機能の実際②】 各校の相談事例を基に，具体的な対応について協議し，理解を深めます。		
備 考	・課題あり（1月18日分）		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	64 あいちクラスルーム・エバンジェリスト（ACE）養成研修 		
ねらい	日本マイクロソフト株式会社のサポートを受けながら、各学校に整備されたICT環境を利用して、ICTを効果的に活用した授業を実践する力を身に付け、基礎から応用までのICTスキルを広く県内の教員に普及・指導できる教員を養成するための研修です。		
対象者	【指定】高等学校の教員 【自由応募】高等学校、特別支援学校の教員	予定人数	50人
期日・時間・会場	内 容 等		
7月27日（水） 9:30～16:30 総合教育センター 大講義室	【講義：働き方改革・教え方改革・学び方改革概論】 ICT環境とこれからの世界を想像し、意識改革の概論を理解します。 【講義：ACEとしてできること】 具体的な実践事例や研修の様子を知ること、ACEの認識を深めます。 【協議：ICT環境に関する情報共有】 各学校のICT環境について情報共有をし、講義で得た知見等を基に解決策や実践計画を考察します。		
10月28日（金） 14:00～16:00 各所属 オンライン開催	【協議：グループワークのテーマに関する中間報告・情報共有】 グループワークの内容を発表し、情報共有を行います。		
2月3日（金） 13:30～16:30 総合教育センター 第13・14講義室	【協議：グループワークのテーマに関する最終報告・情報共有】 グループワークの内容を発表し、情報共有を行います。また、ACEとしてどのように普及・啓発できるか協議し、その対応策を考察します。		
備 考	・課題なし ・一定の条件を満たした参加者には、ACEの認定をします。 ・本講座は、その一部を「eラーニング研修」によって実施します。 ※eラーニング研修の概要は、本案内p.67～p.72をご覧ください。		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

講座・コース名	65 ICT活用実践講座		
ねらい	GIGAスクール構想の実現に向けて、児童生徒一人一人にタブレット端末が配付されたことを受け、児童生徒の学校生活や授業における学びをより充実させるために、現場の教員が円滑にICT教育を推進できることを目指します。		
対象者	【自由応募】小学校、中学校、義務教育学校の教員	予定人数	80人
期日・時間・会場	内 容 等		
8月29日（月） または 8月30日（火） のうち、指定の1日 13:00～16:30 愛知教育大学 教育交流館2F 第1PCルーム	【講義：主体的・対話的で深い学びにつながるICT機器を活用した授業づくり】 ICTを活用した教科指導における新しい学びを実現するための視点について理解を深めます。 【ワークショップ：学習内容・効果に照らしたICT機器を活用した授業づくりと発表】 ワークショップを通して、授業におけるICT活用のポイントや、方法と効果の結び付けについて理解を深めます。		
備 考	・課題なし		
問い合わせ先	研修部 企画研修室 電話 0561-38-9506		

＜eラーニング単独講座＞

講座・コース名	66 高等学校国語科講座～授業構想の工夫～  （単独）		
ねらい	高等学校国語科にかかる基本的な目標設定の仕方や評価規準等について学習し、言語活動を通して育成する資質能力の評価方法など、授業構想上の知見を広げることがねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	平成30年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		「目指す生徒像」の設定 「単元の目標」と「学習後の生徒の姿（評価規準）」の設定 「言語活動」と「評価方法」の設定 「主体的・対話的で深い学び」による学習活動の計画・実施 「振り返り」と「改善」	

講座・コース名	67 高等学校地理歴史・公民科講座～授業構想の工夫～  （単独）		
ねらい	地理歴史科，公民科にかかる基本的な事項及び言語活動を中心とした単元構想の在り方等について学習し，地理歴史科，公民科の「指導と評価の一体化」や「主体的・対話的で深い学び」を意識した学習活動について理解を深めることをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		- 地理歴史科・公民科の学習指導と評価について - 各科目における実践事例	

講座・コース名	68 高等学校数学科講座～授業構想の工夫1～  (単独)		
ねらい	高等学校数学の授業に関する基礎的・基本的な内容について学習し、授業力の向上を図ることをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	平成30年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72 を御覧ください。		- 授業づくりに向けて，授業の計画について - 授業の実践について - 授業の評価と改善について	

講座・コース名	69 高等学校数学科講座～授業構想の工夫2～  (単独)		
ねらい	高等学校数学の授業に関する数学的課題と課題学習について学習し，授業力の向上を図ることをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	平成30年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72 を御覧ください。		「主体的・対話的で深い学び」と数学的活動について - パフォーマンス評価について	

講座・コース名	70 高等学校理科講座～授業構想の工夫～  (単独)		
ねらい	新高等学校学習指導要領理科の趣旨を解説し、そのポイントを授業構想に生かすことができるようにします。特に、理科で育成を目指す資質・能力である「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」を身に付けるために、「主体的・対話的で深い学び」や探究の過程を意識した授業づくりと評価方法について説明します。		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和2年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		- 新高等学校学習指導要領理科の趣旨及びポイントの解説 - 改訂の趣旨及び要点 - 理科の目標 - 理科の科目編成 - 内容の構成の考え方と示し方 - 育成を目指す資質・能力を身に付けることを意識した高等学校理科の授業の工夫 「主体的・対話的で深い学び」を意識した指導法 - 探究の過程を重視した指導法 - 育成を目指す資質・能力に基づく授業評価	

講座・コース名	71 高等学校英語科講座～授業構想の工夫～  (単独)		
ねらい	学習指導要領の内容を中心に，高等学校の英語教育に求められていることについて学習するとともに，授業の中心となる言語活動とパフォーマンステストの効果的な実施方法と評価方法について理解を深めます。		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		- 英語教育に求められていること - 学習指導要領における目標 - 愛知県の英語教育 - 言語活動について - 評価について	

講座・コース名	72 理科観察・実験指導基礎講座  (単独)		
ねらい	理科の観察・実験における指導法の基礎を習得します。また、観察・実験の授業における工夫、事故防止等の留意点について学びます。		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		1 観察・実験の心得・指導の基本 2 実験における事故防止 3 薬品の取り扱い 4 実験を安全に行わせるための心構え	

講座・コース名	73 主権者教育推進講座  (単独)		
ねらい	主権者教育を学校で進めていくことの意義と重要性について理解します。主権者教育実践を，小学校，中学校，高等学校の各学校段階において実践例を示します。		
講師	岐阜大学 准教授 田中 伸		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		1 主権者教育をどのように進めていくか 2 主権者教育の実践－小学校編－ 3 主権者教育の実践－中学校編－ 4 主権者教育の実践－高等学校編－	

講座・コース名	7 4 道徳教育講座～考え議論する道徳～  (単独)		
ねらい	児童生徒に生命を大切に作る心や他人を思いやる心、規範意識等の道徳性を高めるための道徳教育の在り方を理解し、これからの道徳科の授業をより充実したものにする事をねらいとします。		
講 師	愛知教育大学 教授 鈴木 健二		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 6 7～p. 7 2を御覧ください。		1 考え議論する道徳の授業をつくる 2 子どもの成長を促す評価の基本 3 道徳教育推進教師の役割	

講座・コース名	7 5 小学校英語の基礎講座  (単独)		
ねらい	学習指導要領における小学校での英語教育のポイントについて分かりやすく解説します。また，スモールトークやデジタル教科書を用いた実践，タブレットの効果的な活用などすぐに取り入れられそうな内容について紹介します。		
講 師	愛知教育大学 名誉教授 高橋 美由紀		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 6 7～p. 7 2を御覧ください。		1 学習指導要領における小学校での英語教育のポイント 2 授業実践例 3 評価について	

講座・コース名	76 国際英語の教育：理論と実践  (単独)		
ねらい	国際英語論（E I L）に基づいた「国際英語」教育について理解し，具体的な実践方法を学びます。		
講 師	大阪大学大学院 教授 日野 信行		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		1 国際英語の概念 2 「国際英語」教育の原理 3 「国際英語」教育の授業実践例	

講座・コース名	77 Integrating Language & Content in an English Class  (単独) (内容言語統合型学習CLIL：ソフトCLILを例にして)		
ねらい	内容言語統合型学習（CLIL）の基本的理論を理解し，具体的な授業展開を学びます。		
講 師	上智大学 教授 和泉 伸一		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		1 What is CLIL? 2 How can we realize CLIL in our regular English class? ※使用言語：日本語及び英語	

講座・コース名	78 産業教育における評価の在り方  (単独)		
ねらい	令和4年度より年次進行される学習指導要領における評価の在り方・考え方を産業教育の視点から学びます。評価のみならず、授業改善のきっかけを作ります。		
講師	名古屋大学大学院教育発達科学研究科 准教授 坂本 将暢		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72 を御覧ください。		1 評価の最新情報 2 産業学科における評価の在り方 3 産業学科における評価の実践例	

講座・コース名	79 G I G Aスクール構想の動向について  (単独)		
ねらい	G I G Aスクール構想の動向を踏まえ，オンラインコミュニティを利用した I C T の効果的な活用について学びます。		
講師	愛知教育大学創造科学系技術教育講座 准教授 磯部 征尊		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72 を御覧ください。		1 小学校におけるG I G Aスクール構想の動向 2 中学校におけるG I G Aスクール構想の動向 3 I C T の効果的な活用について	

講座・コース名	80 オンライン教育の効果と課題について  (単独)		
ねらい	オンライン教育の課題を踏まえたICTの効果的な活用について学ぶことで、今後のオンライン教育の可能性に対する理解を深めます。		
講 師	名古屋大学大学院教育発達科学研究科 准教授 坂本 将暢		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		- はじめに - COVID-19禍の学校の状況 - オンライン教育の可能性 - オンライン教育の課題 - おわりに	

講座・コース名	81 情報モラル教育講座  (単独)		
ねらい	情報モラル・情報セキュリティ教育の必要性を理解し，学校全体で情報モラル教育に取り組むための体制づくりや具体的な指導法について学びます。		
講 師	金城学院大学 教授 長谷川 元洋		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		- 情報モラル教育においても「資質・能力」の育成を目指す必要がある理由 - 学習指導要領における情報モラル教育の扱いについて - 学校が組織的に情報モラル教育に取り組むために - 考える学習活動により，資質・能力を育成する情報モラル教育の事例	

講座・コース名	82 教師のための情報危機管理講座  (単独)		
ねらい	教員が情報セキュリティの重要性を理解し、安全なICT活用をする知識を得るとともに、オンライン授業等での留意点について学びます。		
講師	金城学院大学 教授 長谷川 元洋		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		1 子どものネット環境 2 もとめられる情報モラル・情報セキュリティ 3 学校現場で必要とされる情報モラル・情報セキュリティ 4 オンライン授業等での学校が気を付けるべき配慮	

講座・コース名	83 カリキュラム・マネジメント講座  (単独)		
ねらい	カリキュラム・マネジメントの概要や具体例を知り，各学校におけるカリキュラム・マネジメントの推進方法を学びます。		
講師	名古屋大学大学院 教授 柴田 好章		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		1 カリキュラム・マネジメントが必要とされる背景 2 カリキュラム・マネジメントの在り方 3 カリキュラム・マネジメントを進めるにあたって 4 実践事例（小学校編） 5 実践事例（中学校編） 6 実践事例（高等学校編）	

講座・コース名	84 効果を上げる授業研究の在り方 eL (単独)		
ねらい	経験に即した体系的な研修の一環として教科指導研修を行うにあたり、授業改善と授業研究に必要な視点を習得し、教科指導力を高めることをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和元年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		1 本講座における授業研究の定義 2 授業研究の進め方	

講座・コース名	85 校内研修と授業研究の効果的な進め方講座 eL (単独)		
ねらい	教育の専門職として教師が成長するために，校内研修や授業研究をどのように実施したらよいのかについて学びます。今日の学校教育の課題に対応するために，アクティブラーニングの視点による授業改善，教師の同僚性に基づくOJTの充実や，学校で教員が共に学び合うための組織づくりなどを実現するための工夫について考えを深めることをねらいとします。		
講 師	名古屋大学大学院 教授 柴田 好章		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		1 専門職としての教師の成長を支える研修の意義 2 校内研修における授業研究の役割 3 授業改善とOJTのための授業研究の意義 4 協働的問題解決としての授業研究の方法 5 カリキュラム・マネジメントに生かす授業研究	

講座・コース名	86 OJTの推進について  (単独)		
ねらい	日常の業務を遂行する中で、教師としての資質・能力を、意図的・計画的・継続的な視点を持ち高めるためのOJTの考え方や取組について、管理職等の理解を促し、各校における教員育成に生かすことをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		- 人材育成とは - OJTとは - 意図的・計画的・継続的視点 - OJTの研究成果 - 中堅教諭等資質向上研修のOJT	

講座・コース名	87 愛知の特別支援教育  (単独)		
ねらい	特別支援教育の意義，特別支援学級での指導，特別支援教育体制を推進する愛知県の取組を理解することをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		- 特別支援教育と愛知県の状況 - 第2期愛知県特別支援教育推進計画 - 障害に配慮した指導 - 教育課程 - 就学・進路について	

講座・コース名	88-A 発達障害の理解と支援講座 発達障害の理解① ～基礎的な理解と具体的な支援～ eL (単独)		
ねらい	広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害の特徴や子どもの様子、発達障害のある子どもたちへの具体的な支援について理解を深めることをねらいとします。		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和元年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は、本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		- 発達障害の理解 - 広汎性発達障害 - 学習障害 - 注意欠陥多動性障害 - 具体的な支援 - 理解と支援のための視点 - 支援をつなげる	

講座・コース名	88-B 発達障害の理解と支援講座 発達障害の理解② ～発達障害と他の精神的問題とを見分けるために～ eL (単独)		
ねらい	発達障害の概念が広がり、発達障害と診断される幼児児童生徒が増えています。発達障害の特性と概念、臨床像、医学的診断に触れつつ、他の精神的問題のある幼児児童生徒との見分け方を理解することをねらいとします。		
講 師	名古屋大学 特任准教授 野邑 健二（現名古屋大学特任教授）		
対象者	【自由応募】幼稚園等、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和2年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は、本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		発達障害の基本的な理解と見分けるべき他の問題について学びます。 - 発達障害の基本 - 見分けることが必要な疾患・問題	

講座・コース名	88-C 発達障害の理解と支援講座 行動への支援① ～行動をどのようにとらえるか～  (単独)		
ねらい	幼児児童生徒の行動面の問題は、特別支援教育に限定されない教育全体における大きな課題の一つです。本講座では、「行動」に関する基礎的な内容について理解することをねらいとします。		
講師	名古屋大学大学院 特任助教 酒井 貴庸（現甲南女子大学准教授）		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和2年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72 を御覧ください。		行動についての基本的な考え方について学びます。 1 行動の捉え方 2 行動を具体的に記述する 3 行動の機能	

講座・コース名	88-D 発達障害の理解と支援講座 行動への支援② ～支援方法を考えるときに重要なこと～  (単独)		
ねらい	「82-C 行動への支援①」講座の内容を踏まえて、「褒めること」の重要性や「罰的な対応」の問題点について理解を深めることをねらいとします。		
講師	名古屋大学大学院 特任助教 酒井 貴庸（現甲南女子大学准教授）		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和2年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72 を御覧ください。		行動の基本的な考え方を踏まえて，支援方法を考える上での重要なポイントについて学びます。 1 褒めることの重要性 2 行動が起こりやすくなるとき 3 罰的な対応の問題点	

講座・コース名	88-E 発達障害の理解と支援講座 感情マネジメント ～自分の感情と上手に付き合うための方法～ eL (単独)		
ねらい	発達障害のある幼児児童生徒は、ストレスに上手に対処することが難しいために、時には感情に振り回されてしまいます。「感情をマネジメントする」ための支援方法を理解することをねらいとします。		
講 師	鳴門教育大学大学院 准教授 小倉 正義		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和2年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72 を御覧ください。		感情と上手に付き合うことを支援するための考え方について学びます。 - はじめに - 感情をマネジメントする	

講座・コース名	89 「事例研究の意義と進め方」 eL (単独)		
ねらい	事例研究の意義と進め方を理解し，事例報告書の作成を通して，児童生徒についての情報収集，状況の見立て，支援検討のポイントを学習することをねらいとします。		
講 師	東京福祉大学 教授 長坂 正文		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	平成22年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72 を御覧ください。		- 事例研究の意義 - 事例研究の持ち方・進め方 - 事例報告者・参加者・司会者の役割 - 事例研究会のルール - 事例報告書の書き方	

講座・コース名	90 児童生徒の強みを生かす教育相談講座  (単独)		
ねらい	学校に関わる福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーの役割について理解を深め、その視点から児童生徒の強みを生かした問題解決の方法について学びます。		
講 師	愛知県立大学大学院 教授 山本 理絵		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は、本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		1 スクールソーシャルワーカーとは 2 スクールソーシャルワーカーと連携するためのケース会議の方法 3 ソーシャルワークの視点 その1 4 ソーシャルワークの視点 その2 5 関係機関との連携	

講座・コース名	91 外国人児童生徒教育の現状と課題  (単独)		
ねらい	外国人児童生徒の増加と多様化の背景や取り巻く環境，愛知県の主な施策について学びます。また，日本語指導，教科指導，進路指導，適応指導についての取り組み方や課題についても理解を深めます。		
講 師	愛知淑徳大学 准教授 小島 祥美（現東京外国語大学准教授）		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和2年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は、本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		1 日本語指導が必要な生徒とは 2 外国人の子どもがここがわからない 3 学校での指導	

講座・コース名	92 ESD（持続発展教育）推進講座 （単独）		
ねらい	ESD（Education for Sustainable Development 持続発展教育）は持続可能な社会を構築するための担い手づくりであり、その視点は学習指導要領にも取り入れられています。この講座では、ESDについて学び、それを学校教育にどのように取り入れるかを考えます。		
講師	ESD・SDGs推進研究室 室長 手島 利夫		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は、本案内 p.67～p.72を御覧ください。		SDGsの視点に立った特色ある教育課程編成について～学習指導要領の改訂を踏まえて～ - ESDの意義 - 学習指導要領に見るSDGsの視点 - カリキュラム・マネジメントの必要性和その実際	

講座・コース名	93-A SDGs理解講座 （単独） SDGs達成に向けたJICAの取組		
ねらい	SDGsを理解し、教師が児童生徒とともに教育現場から行動できるきっかけを作ります。		
講師	JICA中部 江口 由希子，後藤 千明		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は、本案内 p.67～p.72を御覧ください。		- SDGsを理解するポイント - SDGs達成に向けたアクション（JICA）の取組	

講座・コース名	93-B SDGs理解講座  (単独) SDGs達成に向けた学校での実践例		
ねらい	SDGsを理解し、教師が児童生徒とともに教育現場から行動できるきっかけを作ります。		
講師	JICA中部 近藤 勝士		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		- 参加型手法を用いた学校での実践例 - SDGs達成に向けて	

講座・コース名	94-A 学校安全推進講座  (単独) 子どもの安全と安心を守る		
ねらい	子どもの安全と安心を確保するために，学校事故への対応の基礎と学校事故の危機管理及び学校における防災対策と防災教育の実践について理解を深めます。		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	平成26年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		- 学校事故への対応の基礎と危機管理 - 学校事故への対応の基礎 - 危機管理 - 学校における防災対策と防災教育の実践 - 事例1 「3.11を振り返って」 - 事例2 「気仙沼市の東日本大震災からの教育復興への道のり」	

講座・コース名	94-B 学校安全推進講座  (単独) 学校における防災管理について		
ねらい	東日本大震災における石巻市立大川小学校の津波被害において、防災に関する学校運営計画の不備が指摘されています。また、南海トラフ地震発生が懸念される中、防災対応能力の向上を目指します。		
講師	兵庫県立大学 教授 阪本 真由美		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和2年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		1 学校管理下における災害による被害 2 防災管理における検討事項 3 実践的な防災教育	

講座・コース名	95-A 地域学校協働活動推進講座（基礎編）  (単独)		
ねらい	「社会に開かれた教育課程」を実現するために，地域学校協働活動の具体的な活動を知り，その概要や意義や必要性について理解を深めます。		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		地域学校協働活動の魅力や必要性について理解を深めるとともに，各学校の実践に参考となるような活動について学びます。 1 地域学校協働活動とは 2 地域学校協働活動を推進する理由 3 地域学校協働活動の内容・効果	

講座・コース名	95-B 地域学校協働活動推進講座（リーダー編）  （単独）		
ねらい	「社会に開かれた教育課程」を実現するための有効な手だてである地域学校協働活動，コミュニティ・スクールについて理解を深め，学校運営に生かせるようにします。		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和3年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		学校のリーダーとして，地域学校協働活動を推進するうえでの考え方や留意点，求められる学校の役割や期待される効果等について理解を深めます。 1 学校と地域社会との連携・協働の必要性 2 地域学校協働活動の実際と学校の役割 3 地域学校協働活動が学校，地域にもたらす効果	

講座・コース名	96 社会人としてのマナー  （単独）		
ねらい	電話対応や来客対応，挨拶や身だしなみ，コミュニケーションのポイントなど，社会人として身に付けておきたい基本的な社会常識を学びます。		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和4年度
教材学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで，随時，応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は，本案内 p. 67～p. 72を御覧ください。		1 社会人としてのマナーとは 2 挨拶の基本・身だしなみについて 3 コミュニケーションについて 4 電話対応について	

講座・コース名	97-A 職場のメンタルヘルス講座 eL (単独) 職場のメンタルヘルス ～アルコール依存症を知ろう～		
ねらい	学校現場には、さまざまな人間関係の悩みや専門職としての悩み、職務の多忙化等の背景からくるストレス要因があり、教職は仕事関連ストレスのレベルが高い職種と言われています。ストレスへの適切な対処と職場不適応の未然防止のためには、心の健康についての知識と理解を深めることが必要です。教職員一人一人が自分自身のアルコールとの付き合い方を見直すとともに、ストレスコントロールを上手に行えることをねらいとします。		
講 師	医療法人成精会刈谷病院 院長 垣田 泰宏		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	令和元年度
学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は、本案内 p. 67～p. 72 を御覧ください。		アルコールとの付き合い方を見直すとともに、ストレスコントロールを上手に行えることを学びます。 1 アルコールについて 2 アルコール依存症で起きる脳の変化 その1 3 アルコール依存症で起きる脳の変化 その2 4 アルコール依存症の特徴 5 アルコール関連問題について 6 お酒を楽しむために	

講座・コース名	97-B 職場のメンタルヘルス講座 eL (単独) 学校現場の職場ストレスとその対処法		
ねらい	学校現場には、さまざまな人間関係の悩みや専門職としての悩み、職務の多忙化等の背景からくるストレス要因があり、教職は仕事関連ストレスのレベルが高い職種と言われています。ストレスへの適切な対処と職場不適応の未然防止のためには、心の健康についての知識と理解を深めることが必要です。ストレスがどのようにして生じるのかについて理解し、ストレスコーピングの観点から自分自身のこれまでの対応を振り返りながら、職場ストレスへの対処法を身に付けることをねらいとします。		
講 師	臨床心理士 久利 恭士		
対象者	【自由応募】幼稚園等，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，特別支援学校の教職員	公開開始年度	平成29年度
学習期間		令和4年7月1日（金）～令和5年2月28日（火）	
研修方法		研修内容	
- 令和5年2月3日（金）到着分まで、随時、応募を受け付けます。 - eラーニング研修の概要は、本案内 p. 67～p. 72 を御覧ください。		ストレスに関する基礎的な内容の理解とストレスに対処する上で有用なワークを含めた対処法について学びます。 1 ストレスのメカニズムについて 2 自分自身について考える 3 職場ストレスへの対処法	

4 事務職員等研修 ※研修番号98から103までの研修の申し込み手続き等の詳細は、別途、通知します。

(1) 小中学校事務職員研修

研修番号	研修名	ね ら い	対 象 者	予定人数	日数	期日
98	新規採用者研修	学校事務職員として必要な基礎的知識や、法制及び実務に関する知識の習得を図ります（給与、福利、厚生、服務、地方教育行政制度、税の基礎知識等）。	新規採用者	55	6	4/21, 5/12, 5/19 9/7, 9/15, 9/29
99	中堅者前期研修	中堅職員として必要な幅広い視野と的確な判断力の養成並びに職務遂行能力の向上を図ります（基礎的な法律、コミュニケーション、グループワーク等）。	平成27年度採用者	50	3	9/28, 10/6, 10/13
100	中堅者後期研修	中堅職員として培った知識と経験を活かし、業務管理能力や企画立案力の向上を図ります（組織マネジメント、タイムマネジメント、学校安全、グループワーク等）。	平成24年度採用者	60	3	10/27, 11/7, 11/10
101	新任主査研修	主査としての自覚・役割や基本的管理能力の養成を図ります（学校運営、服務、部下育成、健康管理、グループワーク等）。	令和4年度昇任者	20	3	5/26, 6/2, 6/9
102	現任主査研修	主査として必要な指導力の向上と行政的視野の拡大を図ります（リーダーシップ論、コミュニケーション、情報セキュリティ、グループワーク等）。	平成29年度昇任者	15	2	6/23, 7/6
103	新任事務長・総括事務長研修	事務長としての自覚・役割及び学校経営参画への企画・遂行能力の養成を図ります（学校経営論、コミュニケーション、健康管理、グループワーク等）。	令和4年度課長補佐級昇任者	30	2	10/20, 10/28

※事務職員は、この他にも以下の講座を受講することができます。

◆全てeラーニング研修により実施する講座

研修番号 66 「高等学校国語科講座～授業構想の工夫～」	研修番号 82 「教師のための情報危機管理講座」
研修番号 67 「高等学校地理歴史・公民科講座～授業構想の工夫～」	研修番号 83 「カリキュラム・マネジメント講座」
研修番号 68 「高等学校数学科講座～授業構想の工夫1～」	研修番号 84 「効果を上げる授業研究の在り方」
研修番号 69 「高等学校数学科講座～授業構想の工夫2～」	研修番号 85 「校内研修と授業研究の効果的な進め方講座」
研修番号 70 「高等学校理科講座～授業構想の工夫～」	研修番号 86 「OJTの推進について」
研修番号 71 「高等学校英語科講座～授業構想の工夫～」	研修番号 87 「愛知の特別支援教育」
研修番号 72 「理科観察・実験指導基礎講座」	研修番号 88 「発達障害の理解と支援講座（A～Eコース）」
研修番号 73 「主権者教育推進講座」	研修番号 89 「事例研究の意義と進め方」
研修番号 74 「道徳教育講座～考え議論する道徳～」	研修番号 90 「児童生徒の強みを生かす教育相談講座」
研修番号 75 「小学校英語の基礎講座」	研修番号 91 「外国人児童生徒教育の現状と課題」
研修番号 76 「国際英語の教育：理論と実践」	研修番号 92 「ESD（持続発展教育）推進講座」
研修番号 77 「Integrating Language & Content in an English Class」	研修番号 93 「SDGs理解講座（A、Bコース）」
研修番号 78 「産業教育における評価の在り方」	研修番号 94 「学校安全推進講座（A、Bコース）」
研修番号 79 「GIGAスクール構想の動向について」	研修番号 95 「地域学校協働活動推進講座（A、Bコース）」
研修番号 80 「オンライン教育の効果と課題について」	研修番号 96 「社会人としてのマナー」
研修番号 81 「情報モラル教育講座」	研修番号 97 「職場のメンタルヘルス講座（A、Bコース）」

【各コースの内容及び開催日等、講座の詳細】

「スキル・アップ研修の詳細について」のp.36～p.65を御覧ください。

【申し込み】

- ・上記eラーニングの講座は、随時、応募を受け付けます（令和5年2月3日（金）到着分まで）。
- ・「様式4（p.76）」を使用して申し込んでください

(2) 県立学校用務員等研修

研修番号	研修名	ね ら い	対 象 者	予定人数	日数	期日
104	県立学校用務員研修	用務員として必要な学校環境整備、電気及び水道に関する知識・技能の習得を図ります。	用務員のうち希望する者	120	1	別途通知 9月～10月 (4会場：20人×6回)
105	県立学校図書館関係職員研修	県立学校図書館における図書館資料の利用に関する事務に従事する職員の資質の向上を図ります。	図書館事務に従事する事務職員または実習教員のうち希望する者	40	1	別途通知 9月～10月 (1会場：40人)

V eラーニング研修の実施について

1 eラーニング研修とは

インターネットを通じて配信された研修教材を、コンピュータを利用して学習する研修です。受講者が自己の都合に合わせて教材を視聴しながら学習するオンデマンド型の研修なので、指定された期間内であれば、反復して学習することができます。

受講には、ユーザIDとパスワードが必要です。詳細については、各研修講座の開催通知等に添付する受講方法を御覧ください。

2 eラーニング研修を実施する研修・講座一覧

- ・研修・講座名と対応するeラーニング研修教材名を一覧にしてあります。教材の学習期間を確認し、必ず指定の期間内に学習してください。
- ・対象者及びセンターでの研修期日等は、本案内「IV 研修・講座一覧」(p. 23 以降)で確認してください。
- ・「著作権レベル」欄の記号(A, AB)は、各教材の著作権レベルを示しています(p. 71 参照)。

(1) 研修の一部または事前学習もしくは事後学習として受講する

研修番号	研修・講座名	eラーニング研修教材名	学習時間の目安(分)	学習期間	著作権レベル
1	小学校初任者研修	社会人としてのマナー	60	7/25～8/31	AB
		小学校英語の基礎	未定		A
2	中学校初任者研修	社会人としてのマナー	60	7/25～8/31	AB
3 20	高等学校初任者研修(注1) 高等学校中堅教諭資質向上研修 【前期・後期(弾力化MS及びSを含む)】(注1)	国語	高等学校国語の授業構想の工夫	6/6～7/8	AB
		地理歴史 公民	高等学校地理歴史・公民の授業構想の工夫		AB
		数学	高等学校数学の授業構想の工夫1・2(注2)		AB
		理科	高等学校理科の授業構想の工夫		AB
		英語	高等学校英語の授業構想の工夫		AB
5	新規採用養護教諭研修	発達障害の理解①～基礎的な理解と具体的な支援～	34	7/25～8/31	AB
		社会人としてのマナー(注3)	60		AB
6	新規採用栄養教諭研修	栄養教諭に関する法規と職務内容	50	7/25～8/31	A
		社会人としてのマナー(注3)	60		AB
7	県立学校新規採用実習教員・ 寄宿舎指導員研修	人権教育について(基礎編)	23	5/2～6/1	A
13	小学校3年目教員研修	人権教育について(基礎編)	23	9/20～10/7	A
14	中学校3年目教員研修	学級経営について	24		A
17	幼稚園等中堅教諭資質向上研修	中堅教諭等資質向上研修を受講するに当たって	28	5/31～6/30	A
		特定課題研究の進め方とまとめ方(注4)	26		A
		E S D(持続発展教育)について	57	8/23～1/10	AB
		人権教育について(リーダー編)	25		A
		学校安全の推進	44		AB
		発達障害の理解①～基礎的な理解と具体的な支援～	34		AB

研修 番号	研修・講座名	e ラーニング研修教材名			学習時間の 目安（分）	学習期間	著作権 レベル		
1 8	小学校中堅教諭資質向上研修 【前期】	中堅教諭等資質向上研修を受講するに当たって			28	5/31～ 6/30	A		
1 9	中学校中堅教諭資質向上研修 【前期】	人権教育について（基礎編）			23		A		
2 1	特別支援学校中堅教諭資質向上 研修【前期】	情報モラル			44	8/23～1/10	A B		
2 2	中堅養護教諭資質向上研修 【前期】	E S D（持続発展教育）について			65		A B		
2 3	中堅栄養教諭資質向上研修 【前期】								
2 0	高等学校中堅教諭資質向上研修 【前期】	中堅教諭等資質向上研修を受講するに当たって			28	5/31～ 6/30	A		
		人権教育について（基礎編）			23		A		
		効果を上げる授業研究の在り方			25		A B		
		情報モラル			44	8/23～1/10	A B		
		E S D（持続発展教育）について			65		A B		
1 8	小学校中堅教諭資質向上研修 【後期】	中堅教諭等資質向上研修を受講するに当たって			28	5/31～ 6/30	A		
		特定課題研究の進め方とまとめ方（注４）			26		A		
		人権教育について（リーダー編）			25	8/23～1/10	A		
		地域学校協働活動の推進について（基礎編）			19		A B		
		学校安全の推進			44		A B		
		2 1	特別支援学校中堅教諭資質向上 研修【後期】	弾 力 化 （ 注 ５）	初 年 度	中堅教諭等資質向上研修を受講する に当たって	28	5/31～ 6/30	A
					S	特定課題研究の進め方とまとめ 方（注４）	26		A
					M	人権教育について（リーダー編）	25	8/23～1/10	A
地域学校協働活動の推進について （基礎編）	19					A B			
学校安全の推進	44					A B			
2 0	高等学校中堅教諭資質向上研修 【後期（弾力化M S 及び弾力化 S を含む）】	家 庭 農 業 工 業 商 業 水 産 看 護 福 祉	産業教育における評価の在り方		80	6/13～10/28	A B		
			工 業	SDG s 達成に向けた J I C A の取組	15	5/10～6/9	A B		
		SDG s 達成に向けた学校での実践例		20					
2 6	特別支援学級担当教員初心者研 修	愛知の特別支援教育			26	5/6～ 9/1	A B		
		特別支援学級における指導の実際			20		A B		
2 8	高等学校実習教員研修(A:理科コース)	理科観察・実験の指導の基礎			38	6/1～8/31	A B		
3 0	中学校新任進路指導主事研修	進路指導伝達講習 2022（中学校編）			40	5/24～6/30	A		
3 1	県立学校新任進路指導主事研修	進路指導伝達講習 2020（県立学校編）			43	5/10～5/31	A		
3 2	小中学校新任教務主任研修	人権教育について（リーダー編）			25	5/31～9/29	A		
		子どもの安全と安心を守る			35		A B		
		教育法規入門（基礎編）			13		A		
3 3	県立学校新任教務主任研修	人権教育について（リーダー編）			25	6/6～9/29	A		
		教育法規入門（基礎編）			13		A		
3 7	小中学校新任教頭研修	人権教育について（リーダー編）			25	7/26～9/26	A		
		子どもの安全と安心を守る			35		A B		
		O J T の推進について			34		A B		

研修番号	研修・講座名	eラーニング研修教材名	学習時間の目安(分)	学習期間	著作権レベル
38	小中学校新任校長研修	人権教育について(リーダー編)	25	7/26～10/14	A
		子どもの安全と安心を守る	35		AB
		学校組織マネジメント概論	61		A
		OJTの推進について	34		AB
		地域学校協働活動の推進について(リーダー編)	16		AB
39	県立学校新任教頭研修	学校における防災管理について	32	5/18～7/29	AB
		OJTの推進について	34		AB
40	県立学校新任校長研修	OJTの推進について	34	6/1～7/29	AB
46	外国人児童生徒教育講座	外国人児童生徒教育の現状と課題	22	5/6～5/20	AB
60	学級・学年づくりに生かす教育相談講座	事例研究の意義と進め方	30	7/19～8/26	AB
61	いじめ・不登校などの今日的課題に対応する教育相談講座	事例研究の意義と進め方	30	7/19～8/26	AB
62	教育相談コーディネーター養成講座	事例研究の意義と進め方	30	7/19～10/4	AB
		SSWの立場から見た児童生徒の問題解決	60		
64	あいちクラスルーム・エバンジェリスト養成研修	GIGAスクール構想の動向について	未定	7/1～8/31	A
		オンライン教育の効果と課題について	未定		A
		情報モラル	44		AB

(注1) 専門教科が国語、地理歴史・公民、数学、理科または英語の場合のみ対象

(注2) 高等学校初任者研修対象者は「高等学校数学の授業構想の工夫1」を受講し、高等学校中堅教諭資質向上研修【前期】及び【後期】の対象者は「高等学校数学の授業構想の工夫2」を受講

(注3) 小・中・義務教育学校の受講者のみ対象

(注4) 指定された学習期間内に学習を完了した後、8/17～1/10の期間に再視聴が可能

(注5) 受講の弾力化の受講者でMSの研修者は全ての教材を受講する。また「中堅教諭等資質向上研修を受講するに当たって」の受講については、M及びSに限らず、弾力化の初年度に受講

(2) eラーニングのみの講座を受講する(eラーニング単独講座)

全ての教職員が受講することができます。また、センターでの集合研修は行いません。

研修番号	研修・講座名	eラーニング研修教材名	学習時間の目安(分)	学習期間	著作権レベル
66	高等学校国語科講座～授業構想の工夫～	高等学校国語科講座～授業構想の工夫～	35	7/1～2/28 随時申し込みができます 申し込み期限2/3(金)まで	AB
67	高等学校地理歴史・公民科講座～授業構想の工夫～	高等学校地理歴史・公民科講座～授業構想の工夫～	53		AB
68	高等学校数学科講座～授業構想の工夫1～	高等学校数学科講座～授業構想の工夫1～	40		AB
69	高等学校数学科講座～授業構想の工夫2～	高等学校数学科講座～授業構想の工夫2～	40		AB
70	高等学校理科講座～授業構想の工夫～	高等学校理科講座～授業構想の工夫～	50		AB
71	高等学校英語科講座～授業構想の工夫～	高等学校英語科講座～授業構想の工夫～	70		AB
72	理科観察・実験指導基礎講座	理科観察・実験指導基礎講座	38		AB
73	主権者教育推進講座	主権者教育推進講座	115		AB
74	道徳教育講座～考え議論する道徳～	道徳教育講座～考え議論する道徳～	未定		AB
75	小学校英語の基礎講座	小学校英語の基礎	未定		AB
76	国際英語の教育：理論と実践	国際英語の教育：理論と実践	60		A
77	Integrating Language & Content in an English Class	Integrating Language & Content in an English Class	60		AB
78	産業教育における評価の在り方	産業教育における評価の在り方	80		AB
79	GIGAスクール構想の動向について	GIGAスクール構想の動向について	未定		A

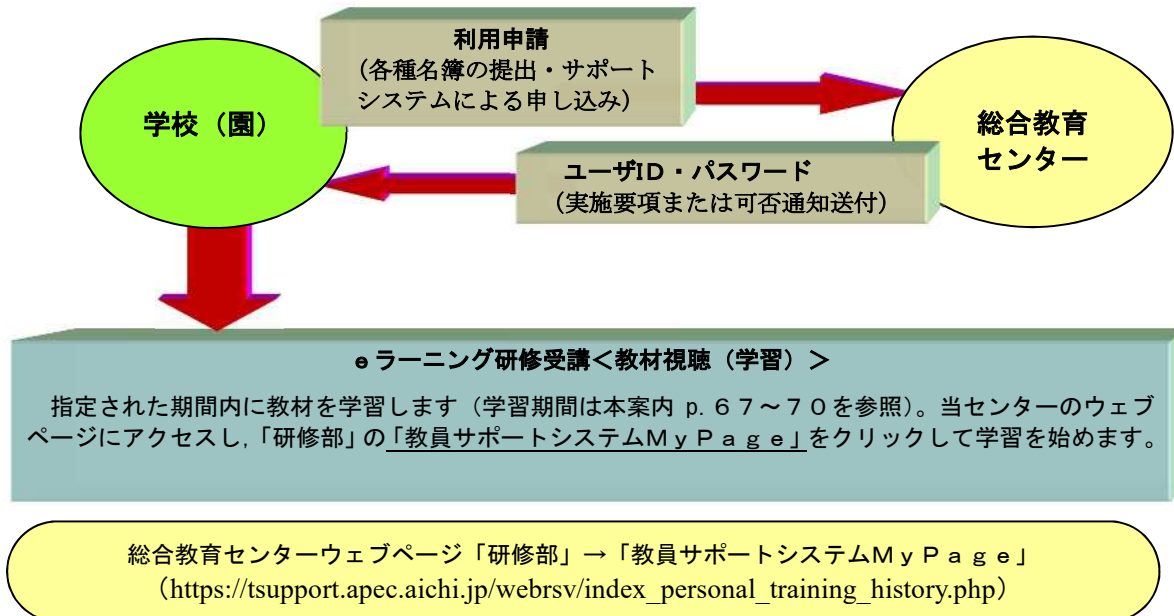
研修 番号	研修・講座名	コース	eラーニング研修教材名	学習時間の 目安(分)	学習期間	著作権 レベル
80	オンライン教育の効果と課題について		オンライン教育の効果と課題について	未定	7/1～ 2/28 随時申し込み ができます 申し込み期限 2/3(金)まで	A
81	情報モラル教育講座		情報モラル	44		AB
82	教師のための情報危機管理講座		教師のための情報危機管理講座	55		AB
83	カリキュラム・マネジメント講座		カリキュラム・マネジメントの推進に向けて	105		AB
84	効果を上げる授業研究の在り方		効果を上げる授業研究の在り方	25		AB
85	校内研修と授業研究の効果的な進め方講座		校内研修と授業研究の効果的な進め方講座	83		AB
86	OJTの推進について		OJTの推進について	34		AB
87	愛知の特別支援教育		愛知の特別支援教育	26		AB
88	発達障害の理解と支援講座	A	発達障害の理解① ～基礎的な理解と具体的な支援～	34		AB
		B	発達障害の理解② ～発達障害と他の精神的問題とを見分けるために～	24		AB
		C	行動への支援① ～行動をどのようにとらえるか～	31		AB
		D	行動への支援② ～支援方法を考えるときに重要なこと～	43		AB
		E	感情マネジメント ～自分の感情と上手く付き合うための方法～	46		AB
89	事例研究の意義と進め方		事例研究の意義と進め方	30		AB
90	児童生徒の強みを生かす教育相談講座		SSWの立場から見た児童生徒の問題解決	60		AB
91	外国人児童生徒教育の現状と課題		外国人児童生徒教育の現状と課題	22		AB
92	ESD(持続発展教育)推進講座		ESD(持続発展教育)について	65		AB
93	SDGs理解講座	A	SDGs達成に向けたJICAの取組	15		AB
		B	SDGs達成に向けた学校での実践例	20		AB
94	学校安全推進講座	A	子どもの安全と安心を守る	35		AB
		B	学校における防災管理について	32		AB
95	地域学校協働活動推進講座	A	地域学校協働活動の推進について(基礎編)	19		AB
		B	地域学校協働活動の推進について(リーダー編)	16		AB
96	社会人としてのマナー		社会人としてのマナー	60		AB
97	職場のメンタルヘルス講座	A	職場のメンタルヘルス ～アルコール依存症を知ろう～	30		AB
		B	学校現場の職場ストレスとその対処法	35		AB

3 利用申請とユーザID及びパスワードの発行

- (1) 該当の研修・講座の名簿（様式2）及び教員サポートシステムによる申し込みが、利用申請を兼ねています。
- (2) eラーニング単独講座については、幼稚園等は「様式2」、事務職員等は「様式4」、小中義務教育学校・県立学校は教員サポートシステムにより申し込み手続きをしてください。なお、令和5年2月3日（金）まで、随時受け付けます。
- (3) ユーザID及びパスワードについては、該当の研修・講座の実施要項（スキル・アップ研修の場合は可否通知）を送付する際にお知らせします。なお、eラーニング単独講座については、申し込み手続きが完了し次第、受講可能となるため、可否通知は送付せず、別途お知らせします。

4 受講開始までの流れ（一般の研修受講の場合）

利用申請から受講開始までの流れは、次のとおりです。



5 著作権レベルと教材の二次利用

eラーニング研修教材には、次のような著作権レベルを設定しています。

- ・レベルA：利用者による一般的な研修受講を想定した利用行為
- ・レベルB：学校等の研修支援を想定した教材の二次利用行為

なお、著作権レベルAB（A、B両方の利用行為を想定するもの）の教材については、一定の要件（「eラーニングシステム利用要項」（p. 72参照）を満たせば、校内研修等において利用が可能です。希望する場合は、校内研修等を実施する年度の1月末までに（ただし、実施する期日の2週間前までに）「eラーニング研修教材にかかる学校等利用申請書」（p. 80様式E1）を提出してください。各教材の著作権レベルは、「2 eラーニング研修を実施する研修・講座一覧」（p. 67～70）に示してあります。

6 不具合が生じた場合の対応

研修受講の段階で、重大な不具合が発生し学習が困難な場合には、下記により電子メールで御連絡ください。不具合の内容を検討し、折り返し総合教育センター担当者から対応方法について連絡します。

アドレス：elnhelp@apec.aichi-c.ed.jp（全て半角英小文字です）

件 名：「不具合の連絡（〇〇立〇〇学校、園）」

本 文 欄：次の点について記載してください。

- ①学校（園）名と連絡者の職・氏名
- ②連絡先メールアドレス
- ③学校（園）電話番号
- ④受講するeラーニング研修の研修・講座名及び教材名、受講者名
- ⑤接続パソコンのOS及びブラウザのバージョン（例：Windows10, IE11 [Internet Explorer 11]）
- ⑥不具合の内容・状況

※「操作マニュアル」及び「トラブルシューティング」を読んで参考にしたところを記載し、その上で、解決していない内容を具体的に記述してください。

なお、緊急の場合は、管理職に相談の上、研修部企画研修室（0561-38-9506）へ電話してください。

eラーニングシステム利用要項

(目的)

第1条 この要項は、eラーニング運用管理規程第3条第2項に基づき、eラーニングシステム（以下、「システム」という。）の利用について必要な事項を定めることを目的とする。

(利用目的)

第2条 システムが提供するサービスは、県内の公立幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校（名古屋市立を除く。以下、「学校等」という。）の教職員（事務職員を含む。）並びにその他、管理責任者が認めた者の研修利用を目的とする。

(利用申請)

第3条 所属長は、年度ごとに所属内でシステムを利用してeラーニング研修を受講する者（以下、「利用者」という。）を取りまとめ、当該研修・講座にかかる所定の申し込み手続きを行うことで、システムの利用を申請しなければならない。

2 研修を目的として、学校等、教育事務所及び市町村教育委員会がシステムの利用を希望する場合は、所属長を代表者としてeラーニング研修教材にかかる学校等利用申請書（様式E1）を管理責任者に提出し承認を得なければならない。

(ユーザID及びパスワードの管理)

第4条 発行されたユーザID及びパスワードは、利用者の責任において管理することとし、第三者に譲渡し、または利用させてはならない。

2 発行されたパスワードは、利用者の責任において適宜変更するものとする。

(利用者の責任)

第5条 利用者が、前条に反し、または当該ユーザIDを使用し、生じた責任は、利用者に帰するものとする。

(パスワードの紛失)

第6条 所属長は、所属内の利用者がパスワードを紛失したときは、パスワード再発行申請書（様式E2）を管理責任者に提出しなければならない。

(利用時間)

第7条 システムの利用時間は、午前9時から午後5時30分までとする。ただし、管理責任者が必要と認めた場合は、利用時間を変更できるものとする。

(利用者の遵守事項)

第8条 利用者は、次の各号に定める事項を遵守しなければならない。

- (1) 法令、条例、規則、その他の規程及び公序良俗に反する利用をしないこと
- (2) システムの趣旨に反する利用をしないこと
- (3) 第三者を誹謗または中傷しないこと
- (4) 営利を目的とした利用をしないこと
- (5) システムの運用に支障を来す利用をしないこと

附則

この要項は、平成20年4月1日から施行する。

附則

この要項は、平成24年4月1日から施行する。

附則

この要項は、平成28年4月1日から施行する。



【様式1】令和4年度 研修・講座対象者・参加者名簿(幼稚園・保育所・認定こども園)

①集約管轄課名	
②市町村名	
③座名 〇〇立〇〇〇〇園	

入力手順

- (1) 左上の①「集約管轄課名」を入力する。(入力セル右下▽をクリックー該当事務所を選択
国私立幼稚園・保育所・認定こども園は入力不要)
- (2) ②「市町村名」を入力する。(〇〇市)
- (3) ③「園名」を入力する。(〇〇立〇〇〇園)
- (4) ④「研修番号」をリストから選択する。(「目次」シート参照)
- (5) 「入力例」留意事項シートを参考に、必要事項を入力する。
- ※1 グレーの色がついたセルは入力不要
- ※2 セル右下▽が出る項目は、リストから選択
- (6) 幼稚園等新規採用教員研修及び公立園の幼稚園等中堅教諭資質向上研修の参加者については、名簿への入力が必要である。

[illegible]

様式枚数 1 枚目/ 1 枚中

令和4年度看護科講座希望者名簿（私立高校）

令和 年 月 日

学校名

校長名

学校電話番号

下記のとおり提出します。

記

職名	氏名	職員番号	備考

〔入力・送信上の注意〕

- 1 看護科講座（研修番号55）について、名簿を作成する。
- 2 提出については、下記に従って、本様式をメール送信する。ただし、学校の所属アドレス（代表アドレス）がない場合は、この名簿を印刷し、申し込み手続き（p.5参照）に従って郵送する。

メール送信先アドレス

sogokyoiku-c@pref.aichi.lg.jp

ファイル名及び送信メールの件名

〇〇学校「看護科講座希望者名簿」

メールを送信する際に、このセルの内容をコピーして、メールの「送信先アドレス」「件名」の欄に貼り付ける等の利用ができます。

(様式5)

小・中・義務教育学校→市町村教委→教育事務所→総合教育センター

**令和4年度
教育研究リーダー養成研修（小・中・義務教育学校）
参加者推薦書**

令和 年 月 日

愛知県総合教育センター所長 殿

学校名

校長名

学校電話番号（ ） —

学校代表アドレス

下記の者を推薦します。

記

職 名		フリガナ		経験年数	年
		氏 名		〔R4.3.31 現在〕	
担 当 学 年		担当教科 (中学校教諭)		主な 校務分掌	
研 究 領 域	(該当する研究領域に○印を付す) ・教科指導（ ） ・道德教育 ・総合的な学習の時間 ・特別活動 ・学級経営 ・生徒指導 ・特別支援教育 ・健康教育 ・キャリア教育 ・情報教育 ・その他（ ）				
研 究 主 題					
推 薦 理 由					

上記の者を推薦します。

_____教育委員会教育長

〔記入上の注意〕

- 1 研究領域で「教科指導」を選んだ場合は、「教科指導（国語）」のように（ ）内に教科名を必ず記入する。
- 2 研究主題は、令和4年度に研究を予定し、各学校で実践できる内容を記入する。
- 3 教職経験6年以上の者を対象とする。ただし、法定研修「中堅教諭等資質向上研修」の対象者を除く。

〔推薦書の提出期限〕

各市町村教育委員会が指定する日までにメール（必着）で提出してください。

(様式6)

学校番号()

令和4年度 教育研究リーダー養成研修(県立学校)
参加者推薦書

令和 年 月 日

愛知県総合教育センター所長 殿

学校名

校長名

学校電話番号() -

下記の者を推薦します。

記

職 名		フリガナ 氏 名		経験年数 〔R4.3.31 現在〕	年
担当学年		担当教科・科目		主な 校務分掌	
研 究 領 域	(該当する研究領域に○印を付す) ・教科指導 () ・道德教育 ・総合的な探究(学習)の時間 ・特別活動 ・学級・ホームルーム経営 ・生徒指導 ・特別支援教育 ・健康教育 ・キャリア教育 ・情報教育 ・その他 ()				
研 究 主 題					
推 薦 理 由					

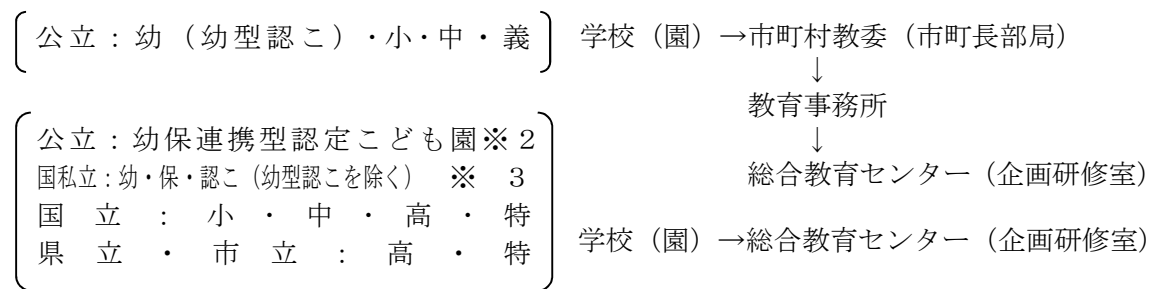
〔記入上の注意〕

- 1 研究領域で「教科指導」を選んだ場合は、「教科指導(国語)」のように()内に教科名を必ず記入する。
- 2 研究主題は、令和4年度に研究を予定し、各学校で実践できる内容を記入する。
- 3 教職経験6年以上の者を対象とする。ただし、法定研修「中堅教諭等資質向上研修」の対象者を除く。

〔推薦書の提出期限〕

令和4年4月14日(木)までにメール(必着)で提出してください。

(様式7)



欠 席 ・ 遅 刻 ・ 早 退 届

令和 年 月 日

愛知県総合教育センター所長 殿

学校（園）名

校長（園長）名

下記により（※¹欠席・遅刻・早退）します。

記

研修・講座・コース名	
職・氏 名	
実 施 日	令和 年 月 日 （ ）
※ ¹ 欠席・遅刻・早退 理 由	

※1 該当する項目を○で囲む。

※2, 3 公立幼保連携型認定こども園の受講者及び、研修番号17の受講者で、私立幼保連携型認定こども園に勤務する者は以下のように届ける。

園 → 市町長部局 → 福祉局子育て支援課 → 総合教育センター

(様式 E 1)

e ラーニング研修教材にかかる学校等利用申請書

令和 年 月 日

愛知県総合教育センター所長 殿

学校（園）名

校長（園長）名

下記のとおり e ラーニング研修教材の利用を申請します。

記

教 材 名			
利 用 目 的			
研修の全体計画における利用教材の位置付け			
利 用 日 時	令和 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分		
利 用 者		利 用 人 数	人
担当者職氏名		連絡先 電 話	() —

〔記入上の注意〕

- 1 本申請により校内研修等で利用することができる教材は、著作権レベルが「A B」のものに限ります。詳細については、本案内 p. 4 9 「5 著作権レベルと教材の二次利用」を御覧ください。
- 2 利用目的は、研修会等の名称を記入してください（「校内現職研修会」等）。なお、教材を研修以外の目的で利用することはできません。
- 3 研修会等の全体計画の中で、教材の視聴（学習）がどのような位置付けにあるかを具体的に記入してください。
- 4 利用日時は、研修会等の開始時刻から終了時刻までを記入してください。なお、申請後、日時が変更になった場合は、その旨を電話で御連絡ください。＜連絡先：研修部企画研修室 0 5 6 1 - 3 8 - 9 5 0 6 (ダイヤルイン)＞
- 5 利用者は、申請者の所属教職員に限ります。「本校全職員」、「本校教務部教員」、「本校数学科教員」などと対象者を具体的に記入してください。
- 6 利用人数は、教材を視聴（学習）する人数について、計画段階での予定人数を記入してください。

〔申請書の提出期限〕

この申請書は、研修実施年度の 1 月末日まで（ただし、利用日の 2 週間前まで） に提出してください。

(様式 E 2)

パスワード再発行申請書

令和 年 月 日

愛知県総合教育センター所長 殿

学 校（園） 名

校 長（園長） 名

下記の教職員について、パスワードの再発行を申請します。

記

フリガナ 氏 名	職名	ユーザ I D	対象となる研修・講座名
申請理由			
連絡先電話番号	() —		

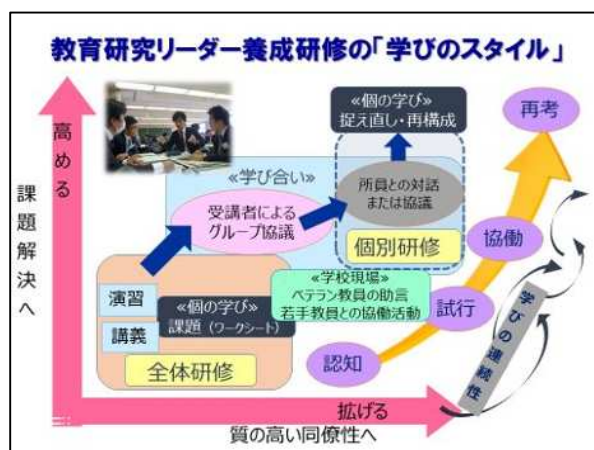
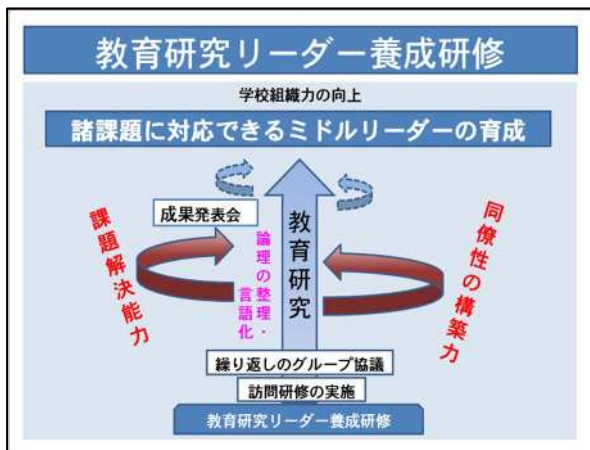
(注)「対象となる研修・講座名」欄には、ユーザ I Dを利用して受講する研修・講座名を全て記入してください。

【参考資料1】 教育研究リーダー養成研修の概要

1 目的

理論的・実践的な教育研究を通して、課題解決能力と同僚性の構築力を身に付けたミドルリーダー育成を目指します。

2 概念図



3 応募条件

- ・現在または今後、学校運営上で、特に教育研究におけるミドルリーダーとしての役割を担う者
- ・市町村立学校教員については、校長、市町村教育委員会教育長及び教育事務所長の推薦を受けた者
- ・県立学校教員については、校長の推薦を受けた者
- ・教職経験6年以上の者を対象とする。ただし、法定研修「中堅教諭等資質向上研修」の対象者を除く

4 研修の流れ

時期	内容	概要
5月20日（金）	開講式 オリエンテーション	指導所員と面談し、研究の方向性について確認します。
6～7月	訪問研修	指導所員が所属校を訪問します。受講者は、研究テーマに沿った授業等を行い、その後、指導所員と協議を行います。 ※訪問研修日：所属校と指導所員で日程調整を行います。
夏季休業中	全体研修（3日）	指定日（3日）にセンターに来所し、講義を受講し、演習や他の受講者とグループ協議を行います。 ※指定日（予定）：7/22・8/1・8/22
7～12月	個別研修（3日）	任意日（3日）にセンターに来所し、指導所員との協議を基に、研究を進めます。 ※任意日：指導所員と日程調整を行います。
9～11月	訪問研修	指導所員が所属校を訪問します。受講者は、研究テーマに沿った授業等を行い、その後、指導所員と協議を行います。 ※訪問研修日：所属校と指導所員で日程調整を行います。
2月10日（金）	成果発表会 閉講式	研究成果を発表します。

○上記研修を通して、校内や地域において教育研究を推進するリーダーとしての資質・能力の向上を図ります。また、各自で研究テーマを掲げ、研究成果を報告書としてまとめ、成果発表会にて発表します。

○過年度の研究成果については、総合教育センターウェブページの「研究部」→「教育研究調査」→「長期研修研究報告書」(<https://apec.aichi-c.ed.jp/kenkyu/chousa/chouken/chouken.htm>)に掲載されています。

【参考資料2】 幼稚園等中堅教諭資質向上研修にかかる在職期間の例

「在職期間〇年」とは、実質の勤務期間が〇年を満たした場合をいう。以下の場合等の計算方法に留意する。
出産休暇（産休）、部分休業、育児短時間勤務は、勤務期間とみなす。
育児休業（育休）、療養休暇（療休）、休職は、勤務期間とみなさない
 （12か月以上の育休、休職のそれぞれ、または育休、療休、休職の2つ以上の期間が連続する場合は、年度のまとがりの有無にかかわらず、12か月を1年として除算する）。

令和4年度受講対象者

H26. 4. 1(8年経験者)またはH25. 4. 1(9年経験者)採用

年数	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
										☆					
										☆					

令和4年4月1日時点で実質の勤務期間が8年または9年を経過している者。

A教諭

H25. 4. 1(9年経験者)採用

年数	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
			産休	育休						☆					
産休を4か月と育休を22か月取った場合					産休は勤務期間とみなす。平成26年度は産休と12か月に満たない育休のため勤務（12か月に満たない端数は数えない）。育休の22か月のうち12か月（1年）を除算する。										

令和4年4月1日時点で実質の勤務期間8年と数える。令和4年度の受講対象者が8年以上経過している者のため、令和4年度の受講予定者となる。

B教諭

H25. 4. 1(9年経験者)採用

年数	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
			産休	育休		産休	育休			☆					
産休4か月・育休32か月を取り、引き続き産休4か月・育休32か月を取った場合					1回目の育休のうち24か月（2年）と2回目の育休のうち24か月（2年）の計4年を除算する。12か月に満たない端数は数えない。※2回の育休は連続しないので別々に計算する。										

令和4年4月1日時点で実質の勤務期間5年と数える。令和6年度の受講対象者が7年以上経過している者のため、令和6年度の受講予定者となる。

C教諭

H26. 4. 1(8年経験者)採用

年数	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
					休職		療休	休職			☆				
休職1回目に10か月を、2回目に療休3か月に引き続き9か月を取った場合					1回目の休職は12か月未満なので、除算しない。2回目は療休と休職が連続し、合わせて12か月となるので、1年を除算する。										

令和4年4月1日時点で実質の勤務期間7年と数える。令和5年度の受講対象者が7年以上経過している者のため、令和5年度の受講予定者となる。

D教諭

H25. 4. 1(9年経験者)採用

年数	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
			休職				休職	休職		☆					
休職1回目に8か月、2回目に9か月、3回目に8か月を取った場合					休職の期間がいずれも12か月未満なので、除算しない。										

令和4年4月1日時点で実質の勤務期間9年と数える。令和4年度の受講対象者が9年以上経過している者のため、令和4年度の受講予定者となる。

E教諭

R2. 4. 1採用

年数	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
		勤他務県	勤他務県	勤他務県	勤他務県		講師			☆					
他府県または私立の幼稚園及び認定こども園（保育所型を除く）で採用され、4年で退職。その後臨時職員を1年経験し、愛知県で改めて幼稚園及び認定こども園に採用された場合					他府県や私立での在職期間と、本県での在職期間を合わせて数える。期限付任用、臨時任用、任期付任用、非常勤講師は在職期間から除算する。										

令和4年4月1日時点で実質の勤務期間6年と数える。令和5年度の受講対象者が7年以上経過している者のため、令和5年度の受講予定者となる。

F教諭

H20. 4. 1採用

年数	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
	勤務所	勤務所	勤務所	産休	育休		産休	育休							☆
保育所勤務を3年間、1回目に産休4か月・育休30か月、2回目に産休4か月育休1年を取った場合					保育所勤務の3年間は除算、1回目の育休30か月のうち24か月（2年）を除算、2回目の育休（12か月）1年を除算。令和4年度4月1日時点で8年を経過し、令和4年度受講対象者となる。										

令和4年4月1日時点で実質の勤務期間8年と数える。令和4年度の受講対象者が8年以上経過している者のため、令和4年度の受講予定者となる。

※本年度の受講対象者かどうか迷う場合は、総合教育センター研修部 基本研修室までお問い合わせください。（電話 0561-38-9507）

【参考資料3】 中堅教諭等資質向上研修【前期】にかかる在職期間の例

「在職期間 5 年」とは、実質の勤務期間が 5 年を満した場合をいう。以下の場合等の計算方法に留意する。

産休、部分休業、育児短時間勤務は、勤務期間とみなし、除算しない。

育休、療休、休職は、勤務期間とみなさない。12 か月以上育休、休職のそれぞれ又は育休、療休、休職の 2 つ以上の期間が連続する場合は、年度のまたがりの有無に関わらず 12 か月を 1 年として除算する。

例1 H29. 4. 1 愛知県採用

年度	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	
						○					令和 4 年度受講予定者

平成29年 4 月 1 日に採用され、 令和 4 年 4 月 1 日を過ぎる場合	在職期間は 5 年を経過する。
---	-----------------

例2 H29. 4. 1 愛知県採用

年度	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	
		産 休	育 休				○				4 年と数えるため 令和 5 年度受講予定者

産休を 4 か月と育児休業を 22 か月 取った場合	産休は勤務期間とみなし、除算しない。 育児休業のうち、22か月のうち12か月(1 年)を除算する。
-------------------------------	--

例3 H29. 4. 1 愛知県採用

年度	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	
		休 職				○					令和 4 年度受講予定者

休職 1 回目に 8 か月、2 回目に 9 か月 を取った場合	休職の期間がいずれも 12 か月未満なので、除算しない。
------------------------------------	------------------------------

例4

H27. 4. 1 他府県採用 H31. 4. 1 愛知県採用

年度	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	
			講 師	講 師				○					令和 4 年度受講予定者

他府県または私立で採用され、2 年で退職。 その後講師を 2 年経験し、本県に採用された 場合	他府県や私立での在職期間と、本県での在職期間を合わせて数え る。期限付任用、臨時的任用、任期付任用、非常勤講師は在職期 間から除算する。
---	--

※本年度の受講対象者かどうか迷う場合は、総合教育センター研修部 基本研修室まで
お問い合わせください。(電話 0561-38-9507)

【参考資料4】 中堅教諭等資質向上研修【後期】にかかる在職期間の例

「在職期間10年」とは、実質の勤務期間が10年を満たした場合をいう。以下の場合等の計算方法に留意する。

出産休暇（産休）、部分休業、育児短時間勤務は、勤務期間とみなし、除算しない。

育児休業（育休）、療養休暇（療休）、休職は、勤務期間とみなさない。12か月以上の育休、休職のそれぞれ、または育休、療休、休職の2つ以上の期間が連続する場合は、年度のまたがりの有無にかかわらず、12か月を1年として除算する。

A教諭 H24. 4. 1愛知県採用

年数	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	
											○					令和4年度受講対象者
平成24年4月1日に採用され、令和4年4月1日を過ぎる場合									在職期間は10年を経過する。							

B教諭 H24. 4. 1愛知県採用

年数	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	
			産休		育休								○			8年と数えるため 令和6年度受講予定者
産休を4か月と育休を34か月取った場合									産休は勤務期間とみなし、除算しない。育休の34か月のうち24か月（2年）を除算する。12か月に満たない端数は数えない。							

C教諭 H24. 4. 1愛知県採用

年数	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	
			産休		育休		産休	育休							○	6年と数えるため 令和8年度受講予定者
産休4か月・育休32か月を取り、引き続き産休4か月・育休32か月を取った場合									1回目の育休のうち24か月（2年）と2回目の育休のうち24か月（2年）の計4年を除算する。12か月に満たない端数は数えない。 ※2回の育休は連続しないので別々に計算する。							

D教諭 H24. 4. 1愛知県採用

年数	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	
					休職			療休	休職			○				9年と数えるため 令和5年度受講予定者
休職1回目に10か月を、2回目に療休3か月に引き続き9か月を取った場合									1回目の休職は12か月未満なので、数えない。2回目は療休と休職が連続し、合わせて12か月となるので、1年を除算する。							

E教諭 H24. 4. 1愛知県採用

年数	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	
			休職					休職			○					令和4年度受講予定者
休職1回目に8か月、2回目に9か月、3回目に8か月を取った場合									休職の期間がいずれも12か月未満なので、除算しない。							

F教諭 H24. 4. 1他府県採用 H30. 4. 1愛知県採用

年数	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08	
					講師	講師							○			8年と数えるため 令和6年度受講予定者
他府県または私立で採用され、4年で退職。その後講師を2年経験し、本県に採用された場合									他府県や私立での在職期間と、本県での在職期間を合わせて数える。期限付任用、臨時的任用、任期付任用、非常勤講師は在職期間から除算する。							

G教諭 H22. 4. 1愛知県採用

年数	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	
				産休		育休							○			在職期間10年となり 令和4年度受講対象者
産休4か月・育休30か月を取ったため、10年経験者研修を延期していた場合									育休30か月のうち24か月（2年）を除算するため、令和4年度4月1日で10年を経過し、令和4年度受講対象者となる。							

※本年度の受講対象者かどうか迷う場合は、総合教育センター研修部 基本研修室までお問い合わせください。（電話 0561-38-9507）

◆公共交通機関を御利用ください。

名鉄豊田線「米野木（こめのき）駅」下車，南へ 600m

(拡大図)

[illegible]

愛知県総合教育センター

〒470-0151 愛知県愛知郡東郷町大字諸輪字上鉾68番地

電話 (0561) 38-2211 (代表)

電話 (0561) 38-9506 (企画研修室)

電話 (0561) 38-9507 (基本研修室)

ファックス (0561) 38-2780

メールアドレス sogokyoiku-c@pref.aichi.lg.jp

ウェブページ <https://apec.aichi-c.ed.jp/cms/>

愛知県総合教育センター農業教育共同実習所

〒446-0066 愛知県安城市池浦町丸田172番1

電話 (0566) 76-4071

ファックス (0566) 77-3477

メールアドレス sogokyoiku-nogyo@pref.aichi.lg.jp

ウェブページ <https://apec.aichi-c.ed.jp/cms/agri.html/>